

久留米市三瀬町遺跡等詳細分布調査報告書

久留米市文化財調査報告書第217集

2006

久留米市教育委員会

序

この度、平成15年度・16年度の2ヵ年にて実施した、三瀬町の町内遺跡分布調査が完了し、『久留米市三瀬町遺跡等詳細分布調査報告書』として本書を発刊するはこびとなりました。

平成17年2月5日に1市4町の合併により久留米市となった三瀬町は、古代より「水沼君」の地として『日本書紀』に登場するなど、郷土の歴史を語る多くの遺跡が存在している可能性を秘めています。しかしながら、三瀬町で脈々と受け継がれてきた人々の営みは、現在の集落地と多くが重なります。そのためその様子のほとんどがまだ解明されておらず、地中に眠っていると考えられています。近年において、久留米・福岡都市圏のベットタウンとして宅地化傾向が進むにしたがって、序々にではあるものの、発掘調査も実施され、町の歴史の一部がようやく姿を見せ始めました。それに伴い、住民の郷土史への関心が高まる一方、押し寄せる開発の波に押され、行政としての文化財保護と各種開発事業との調整の円滑化が急務ともさまできました。

そのような中、今回の調査によって、今までに知られていない歴史遺産を再調査し、周知の埋蔵文化財包蔵地として遺跡・史跡地を確認することが出来ました。今回収集したデータを整理し、調査結果を掲載した本書が、今後の文化財保護行政へのご理解と普及の一端となれば幸いです。

最後になりましたが、現地踏査に対して多大なご理解とご協力を頂きました市民の皆様、地権者の皆様、並びに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成18年3月31日

久留米市教育委員会
教育長 石川集充

例　　言

1. 本書は、平成15年度・16年度に三潴町教育委員会、平成17年度に久留米市が国・県の補助を受けて実施した久留米市三潴町遺跡等詳細分布調査の調査報告書であり、昭和57年発行の『福岡県遺跡分布地図（大川市・筑後市・三潴郡編）』（以下、「県分布地図」という）のうち、三潴町分の増補、改訂版である。
2. 分布調査は三潴町教育委員会が主体となり、三潴町教育委員会社会教育課（現・久留米市文化観光部文化財保護課）塚本映子が担当した。調査方法は町内の田畠の踏査にて実施した。
3. 本書掲載実測図は、畠中和子、香椎佳子、米澤美詠子、原田志保、猿渡式子が担当した。
4. 本書掲載の写真撮影は園井正隆が行った。
5. 本書の執筆・編集は塚本が行った。
6. 本書に関する実測図及び写真・遺物等の記録は久留米市にて保管している。

凡　　例

1. 本書に使用した地図は三潴町役場（現・久留米市役所）が作成した地形図（1/25,000・1/5,000）である。
2. 遺跡の時代区分は福岡県文化財カードに基づき下記のとおりとする。

旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国・安土桃山・江戸・明治・大正・昭和前・昭和後・平成・不明

ただし、時代区分が明確でないものについてはおおまかに、古代（旧石器～平安）・中世（鎌倉～戦国）・近世（安土桃山～江戸）・現代（明治～平成）とした。
3. 分布地図の記号は福岡県遺跡分布地図に基づき下記のとおりとする。

●	古墳	○	消滅古墳	○	散布地等
△	城跡	升	神社	×	その他（天然記念物等）
4. 本書は平成18年3月31日現在で作成している。調査方法も踏査による確認であり、今後の調査等により範囲の変更及び新発見の遺跡の追加等が考えられる。
5. 分布地図中に記掲している遺跡の範囲は、旧字図を基に作成した。

本文目次

I. はじめに	1
1. 調査経過	1
2. 調査体制	1
II. 調査の内容	
1. 三瀬町遺跡等一覧表	4
2. 分布地図	10
3. 採集遺物	34

図版目次

Fig. 1 三瀬町管内図 (1/25,000)	3	Fig.19 遺跡等分布地図18 (1/5,000)	27
Fig. 2 遺跡等分布地図 1 (1/5,000)	10	Fig.20 遺跡等分布地図19 (1/5,000)	28
Fig. 3 遺跡等分布地図 2 (1/5,000)	11	Fig.21 遺跡等分布地図20 (1/5,000)	29
Fig. 4 遺跡等分布地図 3 (1/5,000)	12	Fig.22 遺跡等分布地図21 (1/5,000)	30
Fig. 5 遺跡等分布地図 4 (1/5,000)	13	Fig.23 遺跡等分布地図22 (1/5,000)	31
Fig. 6 遺跡等分布地図 5 (1/5,000)	14	Fig.24 遺跡等分布地図23 (1/5,000)	32
Fig. 7 遺跡等分布地図 6 (1/5,000)	15	Fig.25 遺跡等分布地図24 (1/5,000)	33
Fig. 8 遺跡等分布地図 7 (1/5,000)	16	Fig.26 採集遺物実測図 (1/40)	42
Fig. 9 遺跡等分布地図 8 (1/5,000)	17	Fig.27 採集遺物実測図 (1/40)	43
Fig.10 遺跡等分布地図 9 (1/5,000)	18	Fig.28 採集遺物実測図 (1/40)	44
Fig.11 遺跡等分布地図10 (1/5,000)	19	Fig.29 採集遺物実測図 (1/40)	45
Fig.12 遺跡等分布地図11 (1/5,000)	20	Fig.30 採集遺物実測図 (1/40)	46
Fig.13 遺跡等分布地図12 (1/5,000)	21	Fig.31 採集遺物実測図 (1/40)	47
Fig.14 遺跡等分布地図13 (1/5,000)	22		
Fig.15 遺跡等分布地図14 (1/5,000)	23	PL. 1 採集遺物写真 1	
Fig.16 遺跡等分布地図15 (1/5,000)	24	PL. 2 採集遺物写真 2	
Fig.17 遺跡等分布地図16 (1/5,000)	25	PL. 3 採集遺物写真 3	
Fig.18 遺跡等分布地図17 (1/5,000)	26		

I. はじめに

1. 調査経過

遺跡詳細分布調査は平成15年度と16年度の2か年にわたって町内踏査を実施し、平成17年度に詳細遺跡分布地図作成として実施した国庫補助事業である。町内を北部地区と南部地区に分け、平成15年度に北部地区を、平成16年度に南部地区を対象区とし、その結果、散布地を主として154箇所の遺跡等を発見・再確認した。上記記述のとおり発見・再確認は全て現地踏査による。

2. 調査体制

各年度の調査体制は以下のとおりである。

〔平成15年度〕

調査主体：三瀬町教育委員会 教育長 富松孝侑

調査総括：社会教育課 課長 稲益正明

係長 江島包幸

文化財担当 塚本映子

(調査作業員)

田島好江 田島ヤス子 森光真弓

〔平成16年度・合併前（H16.4.1～H17.2.4）〕

調査主体：三瀬町教育委員会 教育長 富松孝侑（～H17.1.30）

調査総括：社会教育課 課長 稲益正明

係長 井寺早恵子

文化財担当 塚本映子

(調査作業員)

田島好江 田島ヤス子 森光真弓 古賀美恵子 加藤礼子

(整理作業員)

猿渡式子

〔平成16年度・合併後（H17.2.5～H17.3.31）〕

調査主体：久留米市教育委員会 教育長 石川集充

調査総括：教育文化部 部長 石原廣士

文化財保護課 課長 関 知彦

課長補佐 堤 諭吉

主査 立石雅文

庶務担当 権藤節子

調査担当 塚本映子

〔平成17年度〕

調査主体：久留米市教育委員会 教育長 石川集充

調査総括：文化観光部 部長 緒方眞一

文化財保護課 課長 関 知彦

課長補佐 立石雅文（課主査兼務）

庶務担当 権藤節子

調査担当 塚本映子

なお、調査から整理に際し、南筑後教育事務所生涯学習室文化財担当職員をはじめとして、南筑後文化財行政担当職員諸氏のご指導・ご助力を賜わった。また、地元住民の方々には所有地への立入や情報の提供等、多大なるご協力を得ることが出来た。書面をお借りして末文ながら謝辞を表します。

図 全 町 町

三 猪 町

6

5

4

3

2

1

留米市

13

久

12

6

20

5

19

4

18

3

17

2

16

1

15

木

町

23

22

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

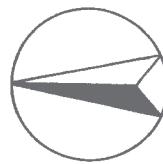
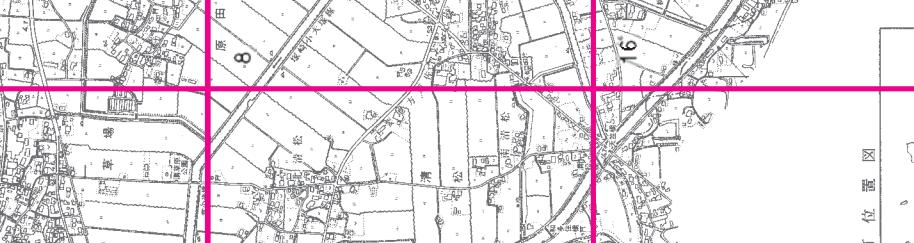
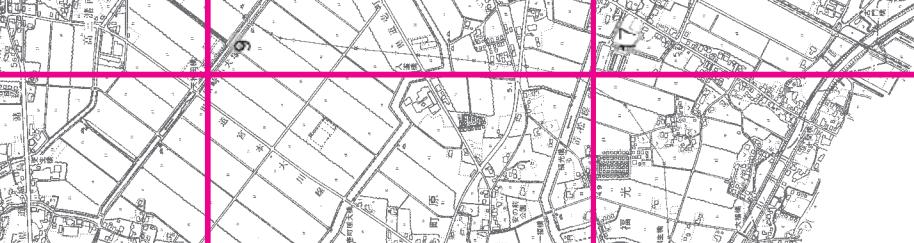
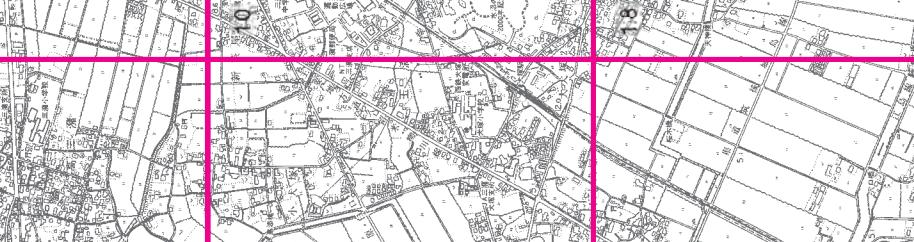
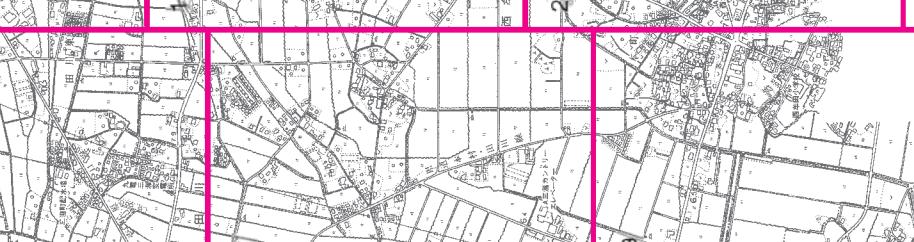
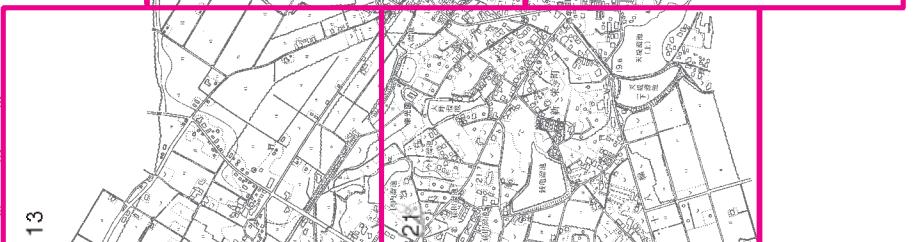
4

3

2

1

0



1:25,000
500
0 100

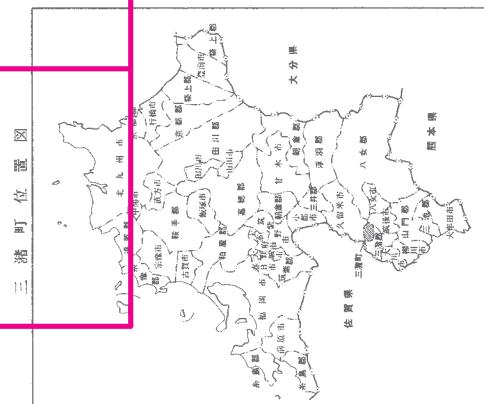


Fig. 1 三猪町管内図 (1/25,000)

II. 調査の内容

1. 三瀬町遺跡等一覧表

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
1	68001	石 仏 八 体 (川端觀音堂)	石仏	三瀬町草場字川端	安土・桃山時代	觀音堂境内にある。永祿10年(1567)銘	
2	68003	草 場 遺 跡	散布地	三瀬町草場字芹田	安土・桃山時代		
3	68002	弥 陀 三 尊 供 養 塔	石塔	三瀬町草場字時里	安土・桃山時代	自然石。水田の畔に立つ。僅かに正面と左中ほどに梵字が見える	
4		文 明 の 板 碑	板碑	三瀬町草場字弥太郎	室町時代	草場天満宮境内にある。文明18年丙午(1468)銘	
5		光 泉 寺 跡	古寺	三瀬町草場字沖島	江戸時代		
6		原 田 西 屋 敷	集落	三瀬町原田字西屋敷	中世		
7		原 田 北 屋 敷	集落	三瀬町原田字北屋敷	中世		
8		高 三 瀬 遺 跡 群	集落	三瀬町高三瀬	弥生時代～		
9	680024	御 墓 塚 貝 塚	集落	三瀬町高三瀬字塚崎西畠	弥生時代	牡蠣殻、貝類、弥生式土器、石器等	
10		高三瀬大津添遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字大津添	中世		
11		高三瀬横枕遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字横枕	中世		
12		原 田 久 保 田 遺 跡	散布地	三瀬町原田字久保田	中世		
13		原 田 定 覚 遺 跡	散布地	三瀬町原田字定覚	中世		
14		高三瀬当弥町遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字当弥町	中世		
15		高三瀬角竹遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字角竹	中世		
16		高三瀬天神田遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字天神田	中世		
17		高三瀬長坪遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字長坪	中世		
18		高三瀬一丁田遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字一丁田	中世		
19	680025	御 墓 塚 古 墳	円墳	三瀬町高三瀬字塚崎西畠	弥生時代	現存高約1m。「筑後將士軍談」に「寛延二年、…塚を発掘して石棺上より銅劍二口…」とある	
20	680026	北 小 路 貝 塚	集落	三瀬町高三瀬字塚崎東畠	弥生時代	牡蠣等貝殻類、弥生式土器、石器等	
21	680028	法 塔 相 輪	石塔	三瀬町高三瀬字塚崎東畠	安土・桃山時代	2基分	
22	680023	富 松 どん の 墓	古墓	三瀬町高三瀬字庄分	鎌倉時代	自然石の墓碑2基。明暦3年(1657)丁酉銘。正保2年(1645)乙酉銘	
23	680029	鳥 帽 子 塚	集落	三瀬町高三瀬字塚崎東畠	弥生時代	弥生式土器、石器。隣接地からは銅劍2口出土	
24		も つ き 塚	散布地	三瀬町高三瀬字北小路	弥生時代		
25		一 里 塚 跡	一里塚	三瀬町高三瀬字北田	江戸時代	大正中頃までは小さな盛土の塚が残っていた	
26	680027	五 輪 塔	石塔	三瀬町高三瀬字塚崎東畠	江戸時代		
27	680030	古 賀 遺 跡	散布地	三瀬町高三瀬字古賀	弥生～古墳時代		
28		横 溝 氏 館 跡	館跡	三瀬町高三瀬字池田	鎌倉時代	地頭職・横溝五郎一族	
29		高三瀬六反田古墳	円墳	三瀬町高三瀬字六反田	古墳時代	消滅	
30		田 中 觀 音	石仏	三瀬町高三瀬字八龍	江戸時代	田中吉政の家臣、田中兵庫頭の屋敷跡との伝承。觀音堂内に十一面觀音が安置	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
31		高 三 猪 館 跡	館跡	三猪町高三猪字館	戦国時代	『筑後領主附』に「高三猪式部少輔、高三猪ニ居り」との記述あり	
32	680031	三猪小学校校庭遺跡	集落	三猪町高三猪字北松林	弥生時代	弥生式土器、石器	
33	680033	高 三 猪 古 墳	円墳	三猪町高三猪字大坪	古墳時代	消滅	
34	680032	五十町さん古墳	円墳	三猪町高三猪字五十町	古墳時代	消滅。部材は現在、高三猪弓頭神社前の記念碑に転用	
35		高三猪三井寺遺跡	散布地	三猪町高三猪字三井寺	中世		
36		玉満一丁田遺跡	散布地	三猪町玉満字一丁田	中世		
37		玉満向工野遺跡	円墳	三猪町玉満字向工野	古墳時代	向工野古墳群一号・二号は消滅	
38	680013	弥陀三尊梵字板碑	板碑	三猪町玉満字向工野	安土・桃山時代	53×35×15cmの自然石を用いる	
39	680015	犬 塚 城 跡	城跡	三猪町玉満字原口	室町時代	応仁の乱頃、探題渋川氏が築城	
40	680014	犬塚城跡陣堀跡	城跡	三猪町玉満字明房	室町時代	犬塚城の内堀、巾7m・深さ約2m・長さ約100mが現存する	
41		原 口 一 号 墳	円墳	三猪町玉満字原口	古墳時代	消滅	
42		原 口 二 号 墳	円墳	三猪町玉満字原口	古墳時代	消滅	
43		馬 場 古 墳	円墳	三猪町玉満字馬場	古墳時代	消滅	
44		早 津 崎 遺 跡	散布地	三猪町早津崎	弥生時代～		
45		高三猪南天神田遺跡	散布地	三猪町高三猪字天神田	弥生時代～		
46		小犬塚犬の宮古墳	円墳	三猪町玉満字道端ノ二	古墳時代	消滅	
47		早津崎池尻遺跡	散布地	三猪町早津崎字池尻	弥生時代～		
48		早津崎松の下遺跡	散布地	三猪町早津崎字松の下	弥生時代～		
49		葉 師 板 碑	板碑	三猪町早津崎字吹上	江戸時代	『寛延記』に記述あり	
50		吹 上 古 墳	円墳	三猪町早津崎字吹上	古墳時代	石棺石材一部現地に存	
51		早津崎五反田遺跡	散布地	三猪町早津崎字五反田	弥生時代～		
52		早津崎吹上遺跡	散布地	三猪町早津崎字吹上	弥生・古墳時代		
53	680047	田川北畠北の切遺跡 (県台帳・早津崎遺跡)	散布地	三猪町田川字北畠北の切	弥生時代		
54		田川北畠南の切遺跡	散布地	三猪町田川字北畠南の切	弥生時代～		
55	680039	田 川 城 跡	城跡	三猪町田川字北畠南の切	江戸時代	伝・田川長門守の居城	
56	680037	田 川 村 囲 遺 跡	散布地	三猪町田川字村囲	弥生時代		
57	680036	村 囲 石 塔 群	石塔	三猪町田川字村囲	戦国時代	五輪塔4・法篋印塔2・板碑1	
58		山 伏 塚	円墳	三猪町田川字村囲ノ二	古墳時代	消滅?畠内地中に石材あり	
59		正 徳 の 板 碑	板碑	三猪町田川字村囲ノ二	江戸時代	自然石。板石に「正徳二年(1712)五月十日 釈尼知盡」	
60		葉 師 堂	石仏	三猪町田川字村囲ノ一	江戸時代	伝・長徳寺の鐘楼跡。享和三年一月と刻まれた石造手洗鉢あり	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
61		小犬塚の一里塚	一里塚	三瀬町玉満字道端	江戸時代		
62	680061	田川中原遺跡	散布地	三瀬町田川字中原	弥生～中世	土壙・溝・不明遺・ピット	
63	680037	田川井樋の口遺跡	散布地	三瀬町田川井樋の口	弥生時代		
64	680035	道化坊さん	石像	三瀬町田川字村団の二	古墳～江戸	坐像	
65	680034	地蔵板碑	板碑	三瀬町田川字村団の一	江戸時代	遊行地蔵。線刻	
66		田川古賀遺跡	散布地	三瀬町田川字古賀	中世		
67	680046	木の下遺跡	散布地	三瀬町早津崎字木の下	鎌倉時代		
68		早津崎松木島遺跡	散布地	三瀬町早津崎字松木島	弥生～中世		
69		早津崎栗ノ内遺跡	散布地	三瀬町早津崎字栗ノ内	弥生～中世		
70		早津崎野町遺跡	散布地	三瀬町早津崎字野町	弥生～中世		
71		早津崎北ノ山遺跡	散布地	三瀬町早津崎字北ノ山	弥生～中世		
72	680038	熊引又右衛門尉重次零位	石像	三瀬町田川字五俣南の切	江戸時代	共同納骨堂境内。寛文5年(1666)銘	
73		五 俣 塚	塚	三瀬町田川字五俣南の切	江戸時代		
74	680068	田川大野遺跡	集落	三瀬町田川大野	中世	溝・土壙・ピット	
75	680004	北清松八幡宮肥前狛犬	神社	三瀬町清松字杉ノ本	江戸時代	境内内	
76		北清松北ノ屋敷遺跡	散布地	三瀬町清松字北ノ屋敷	室町時代		
77		北清松寺屋敷遺跡	集落	三瀬町清松字寺屋敷	江戸時代		
78	680005	六地蔵供養塔棹板	棹板	三瀬町清松字寺屋敷	安土・桃山時代	他に法篋印塔笠石がある	
79	680006	金剛五仏梵字板碑	板碑	三瀬町清松字寺屋敷	安土・桃山時代	観音堂境内にある	
80	680007	南 田 塚	円墳	三瀬町清松字南田	古墳時代	削平が進んでおり、現在では形態不明	
81	680009	法篋印塔相輪	石塔	三瀬町清松字身代	安土・桃山時代		
82	680008	法篋印塔	石塔	三瀬町清松字南田	安土・桃山時代	観音堂境内にある	
83		南清松身代遺跡	集落	三瀬町清松字身代	戦国時代		
84		南清松シャカマ遺跡	散布地	三瀬町清松字シャカマ	戦国時代		
85		南清松南屋敷遺跡	集落	三瀬町清松字南屋敷	戦国時代		
86		高三瀬久美木遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字久美木	中世		
87		高三瀬中多恵遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字中多恵	中世		
88		高三瀬坂島遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字坂島	中世		
89		壱町原馬喰野遺跡	散布地	三瀬町壱町原字馬喰野	中世		
90		壱町原間敷遺跡	散布地	三瀬町壱町原字間敷	中世		

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
91		高三瀬野口遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字野口	中世		
92		原田屋敷遺跡	散布地	三瀬町壱町原字原田屋敷	江戸時代		
93		壱町原内池田遺跡	散布地	三瀬町壱町原字内池田	中世		
94		壱町原西野中遺跡	散布地	三瀬町壱町原字西野中	中世		
95	680049	壱町原遺跡	散布地	三瀬町壱町原	弥生時代		
96		壱町原西屋敷遺跡	集落	三瀬町壱町原字西屋敷	江戸時代		
97		北村庄衛門墓碑	古墓	三瀬町壱町原字西屋敷	江戸時代	没年、延宝5(1677)丁巳年	
98		壱町原栗ノ内遺跡	散布地	三瀬町壱町原字栗ノ内	中世		
99		壱町原笛原遺跡	散布地	三瀬町壱町原字笛原	中世		
100	680010	福光天満宮肥前鳥居	神社	三瀬町壱町原字山添	安土・桃山時代	貞享4年(1688)第1回補修	
101	680012	六左衛門塚 (伝白仁弾正の墓)	古墓	三瀬町壱町原字馬喰野	安土・桃山時代	伝・白仁弾正の臣	
102		六左衛門塚跡	古墓	三瀬町福光字馬喰野	江戸時代	消滅	
103		裏畠古墳	円墳	三瀬町玉満字裏畠	古墳時代	円墳か?南側に石棺の一部露出	
104		玉満裏畠遺跡	集落	三瀬町玉満字裏畠	弥生・古墳時代		
105		玉満用蓮池遺跡	散布地	三瀬町玉満字用蓮池	弥生時代～中世		
106		玉満園畠古墳	円墳	三瀬町玉満字園畠	古墳時代	消滅	
107		高三瀬島添遺跡	散布地	三瀬町高三瀬字島添	中世		
108		新茶屋三本松遺跡	散布地	三瀬町玉満字三本松	中世		
109	680020	玉満上町遺跡	散布地	三瀬町玉満字上町	弥生時代		
110		比丘尼塚	円墳	三瀬町玉満字足洗ノ二	弥生・古墳時代	消滅	
111		大犬塚町口遺跡	散布地	三瀬町玉満字野口	弥生時代		
112		道手牟田遺跡	墓地	三瀬町玉満字道手牟田	江戸時代	落とし穴・墓壙	
113		玉満山の内	散布地	三瀬町玉満字山の内	中世		
114	680021	北原遺跡	散布地	三瀬町玉満字北原	弥生時代		
115		玉満松木ソノ遺跡	集落	三瀬町玉満字松木ソノ	弥生・古墳時代	溝・竪穴式住居・掘立柱建物・周溝状遺構・ピット	
116		大犬塚犬の宮遺跡	散布地	三瀬町玉満字宮の前	弥生時代		
117	680016	大犬塚犬の宮古墳	円墳	三瀬町玉満字宮の前	弥生・古墳時代	墳丘部消滅	
118		吉武助左衛門墓	古墓	三瀬町田川字南枚	江戸時代	自然石	
119		西牟田黒鳥遺跡	散布地	三瀬町西牟田字黒鳥			
120	680044	田川長門守墓	古墓	三瀬町西牟田字笛原	安土・桃山時代	伝・天正元年(1573)討死	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
121		西牟田石原遺跡	散布地	三潴町西牟田字石原			
122		西牟田清導寺浦遺跡	集 落	三潴町西牟田字清導寺浦	弥生時代	竪穴式住居・落とし穴・ピット・塚	
123	680041	十連寺古墳	円 墳	三潴町西牟田字十連寺	古墳時代	一部欠損。円墳か。墳頂部に宮地嶽神社	
124		西牟田清導寺	散布地	三潴町西牟田字清導寺	弥生～		
125		十連寺六地蔵	石 塔	三潴町西牟田字十連寺	江戸時代	竿石に享保16(1731)辛亥年銘	
126	680067	西牟田嬉野遺跡	集 落	三潴町西牟田字嬉野	中世	溝・土壙	
127		川原伝左衛門墓	古 墓	三潴町西牟田字平野	江戸時代		
128		西牟田平野遺跡	集 落	三潴町西牟田字平野	江戸時代	溝・掘立柱建物・ピット・不明土壙	
129		南清松井手角遺跡	散布地	三潴町清松字井手角			
130		福光下生津遺跡	散布地	三潴町福光字下生津			
131	680011	内田源助持久の墓	古 墓	三潴町壱町原字大道端	安土・桃山時代	福光大庄屋の墓	
132		福光井竜遺跡	散布地	三潴町福光字井竜			
133		宥仙寺跡	古 寺	三潴町福光字蓮の池	江戸時代		
134		岩古賀八幡宮	神 社	三潴町生岩字	江戸時代	肥前狛犬	
135		前田の板碑	板 碑	三潴町玉満字前田	江戸時代?		
136		下小犬塚堂田	散布地	三潴町下小犬塚字堂田	中世～近世		
137	680048	栗の内遺跡	散布地	三潴町生岩字栗の内	弥生時代		
138	680017	どんどん山古墳	円 墳	三潴町玉満字中小路	古墳時代	消滅	
139	680022	中小路六地蔵	石 塔	三潴町玉満字中小路	江戸時代	観音堂に安置	
140	680018	玉満柳町遺跡 (県地図名称・稲葉遺跡)	散布地	三潴町玉満字柳町	古墳時代		
141		平田半兵衛墓碑	古 墓	三潴町西牟田字東京	江戸時代	元禄年間に千間溝開設の功労者	
142	680045	三島神社遺跡	散布地	三潴町西牟田字西本村	鎌倉時代		
143		本町三島神社	神 社	三潴町西牟田字西本村	鎌倉～江戸時代	肥前狛犬・肥前鳥居	
144		寛文の板碑	板 碑	三潴町西牟田字本村中	江戸時代	寛文9酉年(1669)銘	
145		大坪三島宮	神 社	三潴町西牟田字北大坪	江戸時代	石造五重塔・庚申塔・農勸社	
146		十連寺孫田遺跡	散布地	三潴町西牟田字孫田	弥生・近世		
147	680043	十八・錢龜遺跡	墓 地	三潴町西牟田字十八・錢龜	江戸時代	蔵骨器出土	
148		西牟田土塁跡	土 塁	三潴町西牟田字	戦国時代	土塁一部のみ残存	
149		西牟田古賀遺跡	散布地	三潴町西牟田字古賀	弥生・古墳時代		
150		西牟田古賀古墳	円 墳	三潴町西牟田字古賀	古墳時代	円墳か?	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
151		ウ ラ 神 サン 塚	古 墓	三瀬町西牟田字峰ノ下	江戸時代		
152		銭 亀 古 墳	円 墳	三瀬町西牟田字銭亀	古墳時代	石棺有り?	
153		生 津 城 跡	城 跡	三瀬町生岩字城の内	安土・桃山時代	天正4年(1576)築城。本丸東西73間、南北62間、西の堀の口の広さ3間、中の堀の口の広さ2間	
154		生 津 六 地 藏	散布地	三瀬町生岩字六地藏	中世		

2. 分布地図

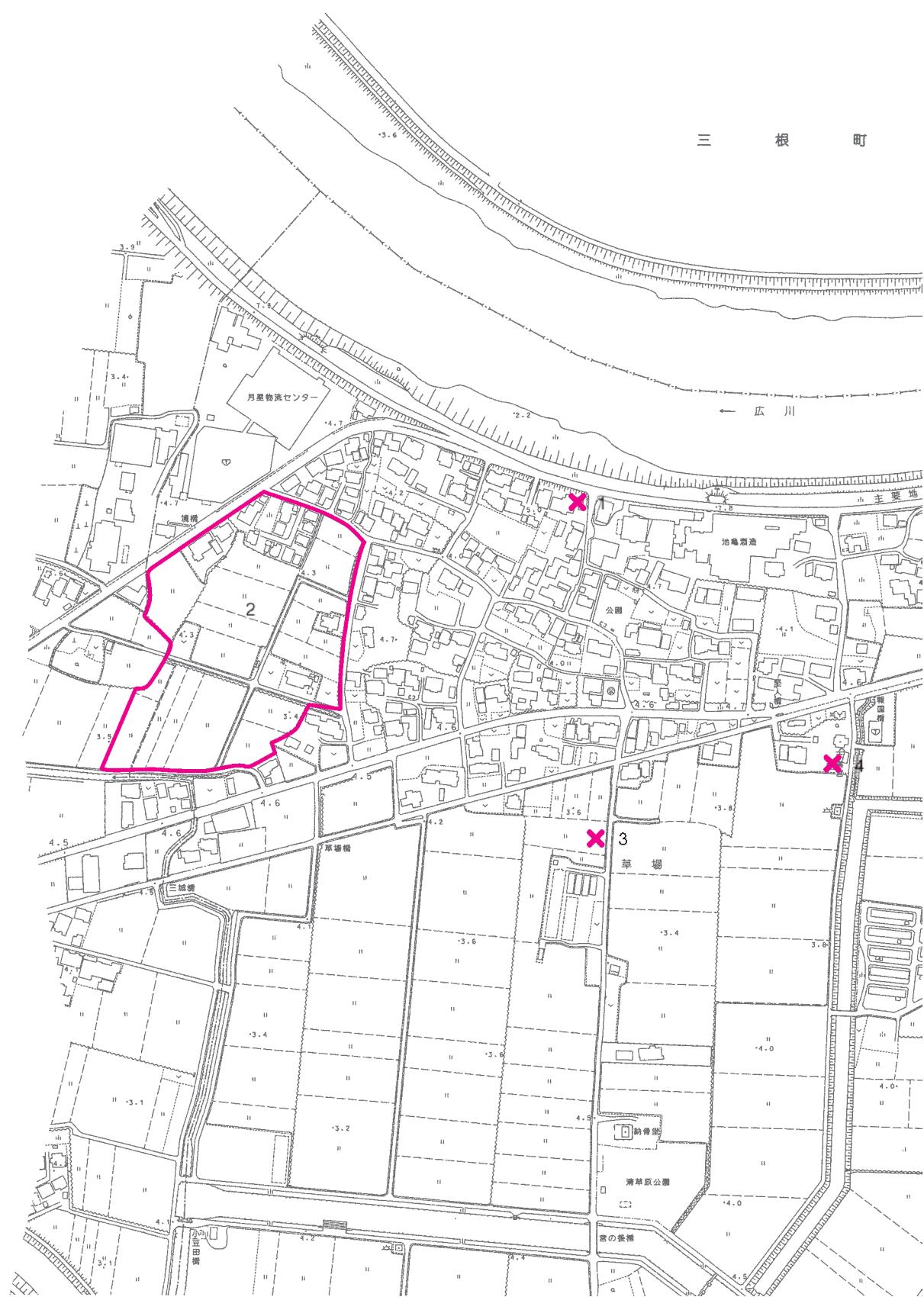


Fig. 2 遺跡等分布地図 1 (1/5,000)

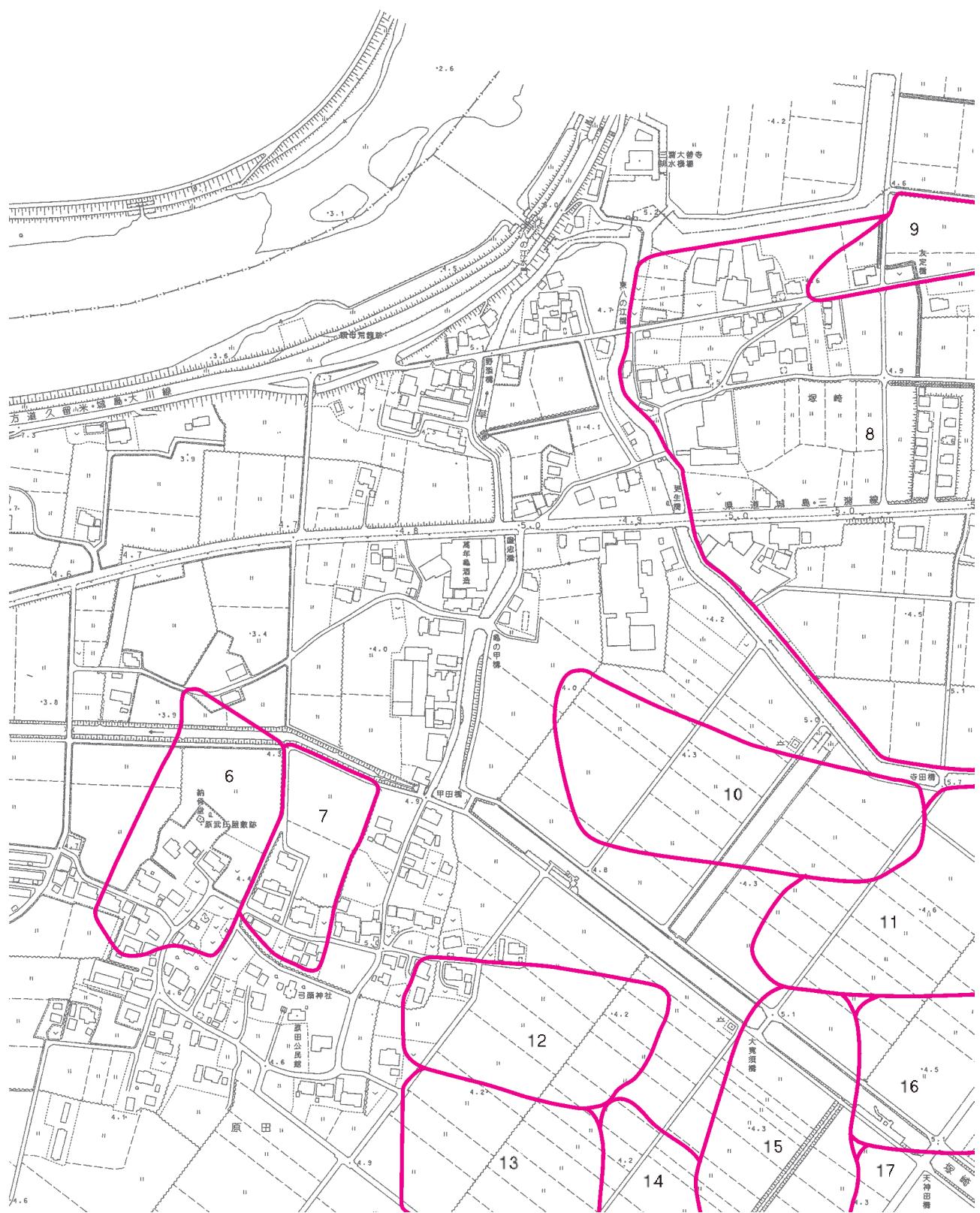


Fig. 3 遺跡等分布地図 2 (1/5,000)

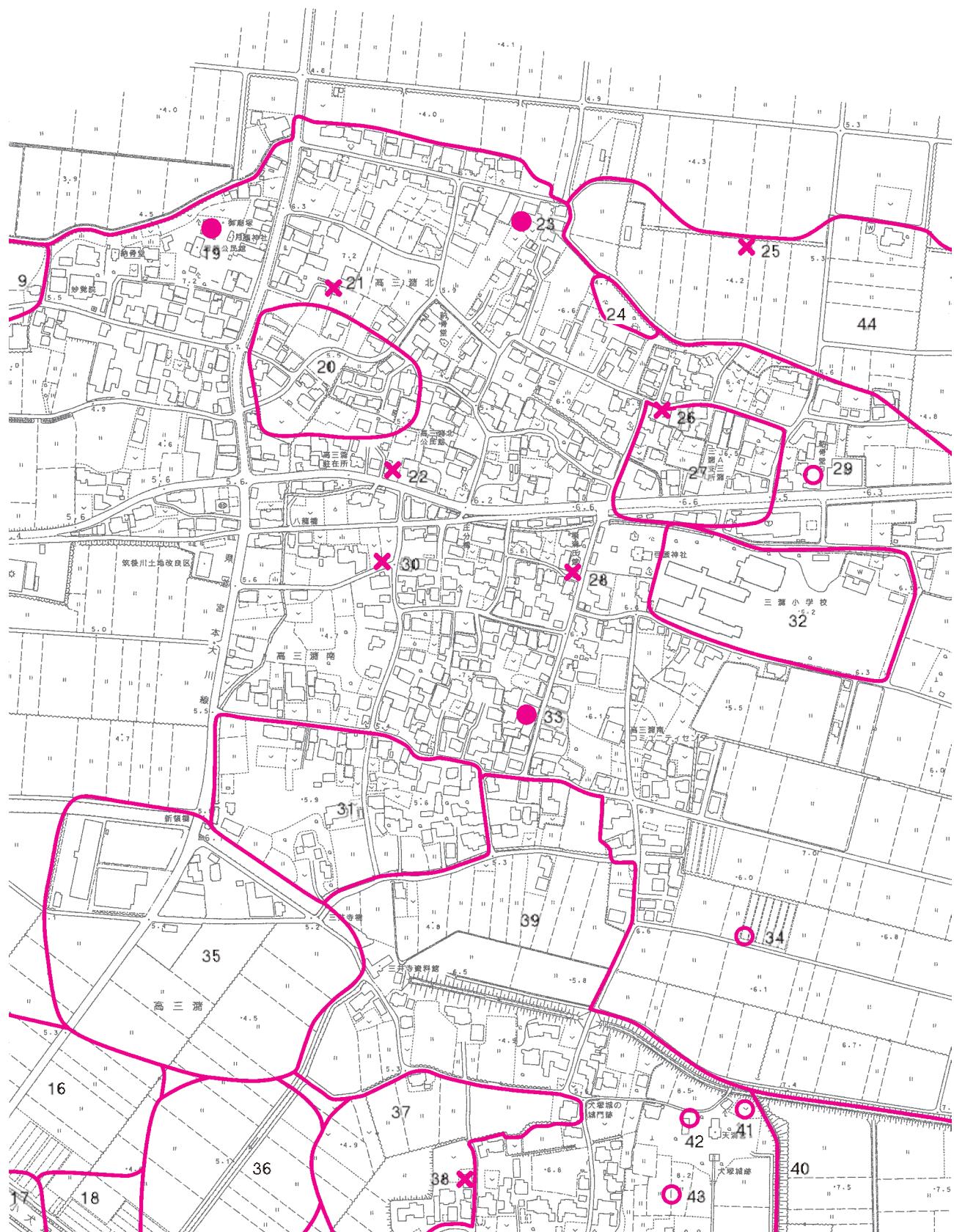


Fig. 4 遺跡等分布地図 3 (1/5,000)

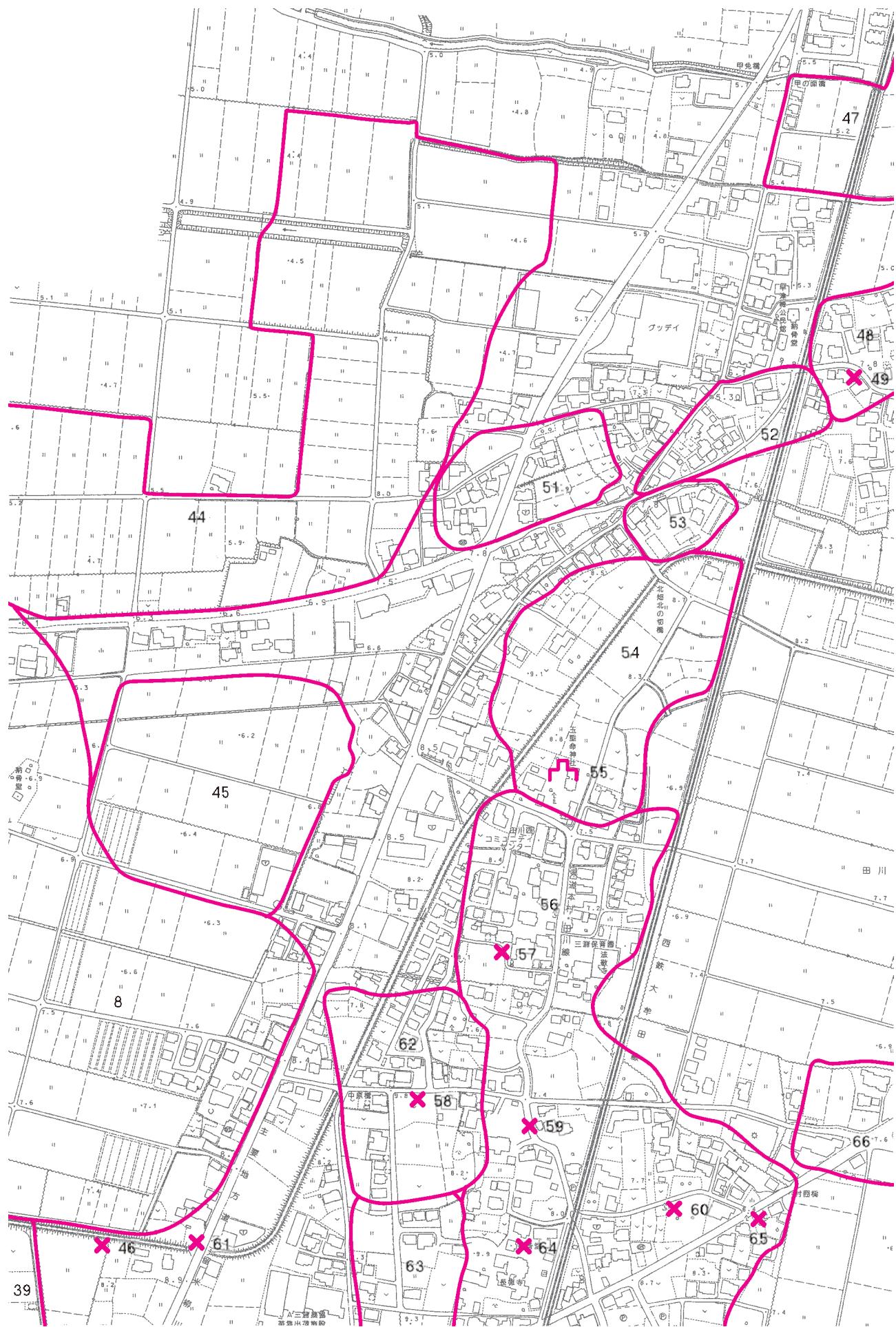


Fig. 5 遺跡等分布地図 4 (1/5,000)

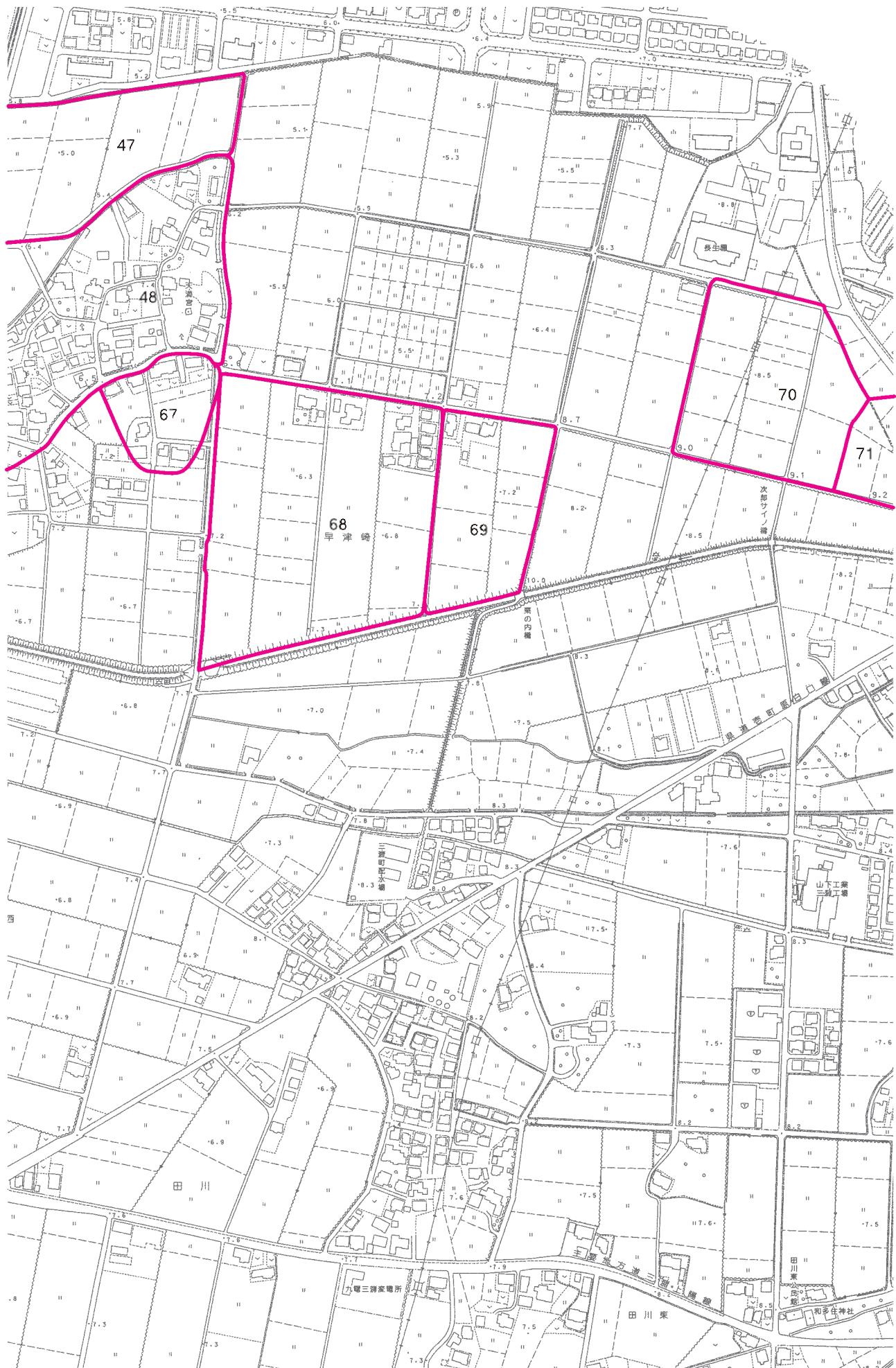


Fig. 6 遺跡等分布地図 5 (1/5,000)

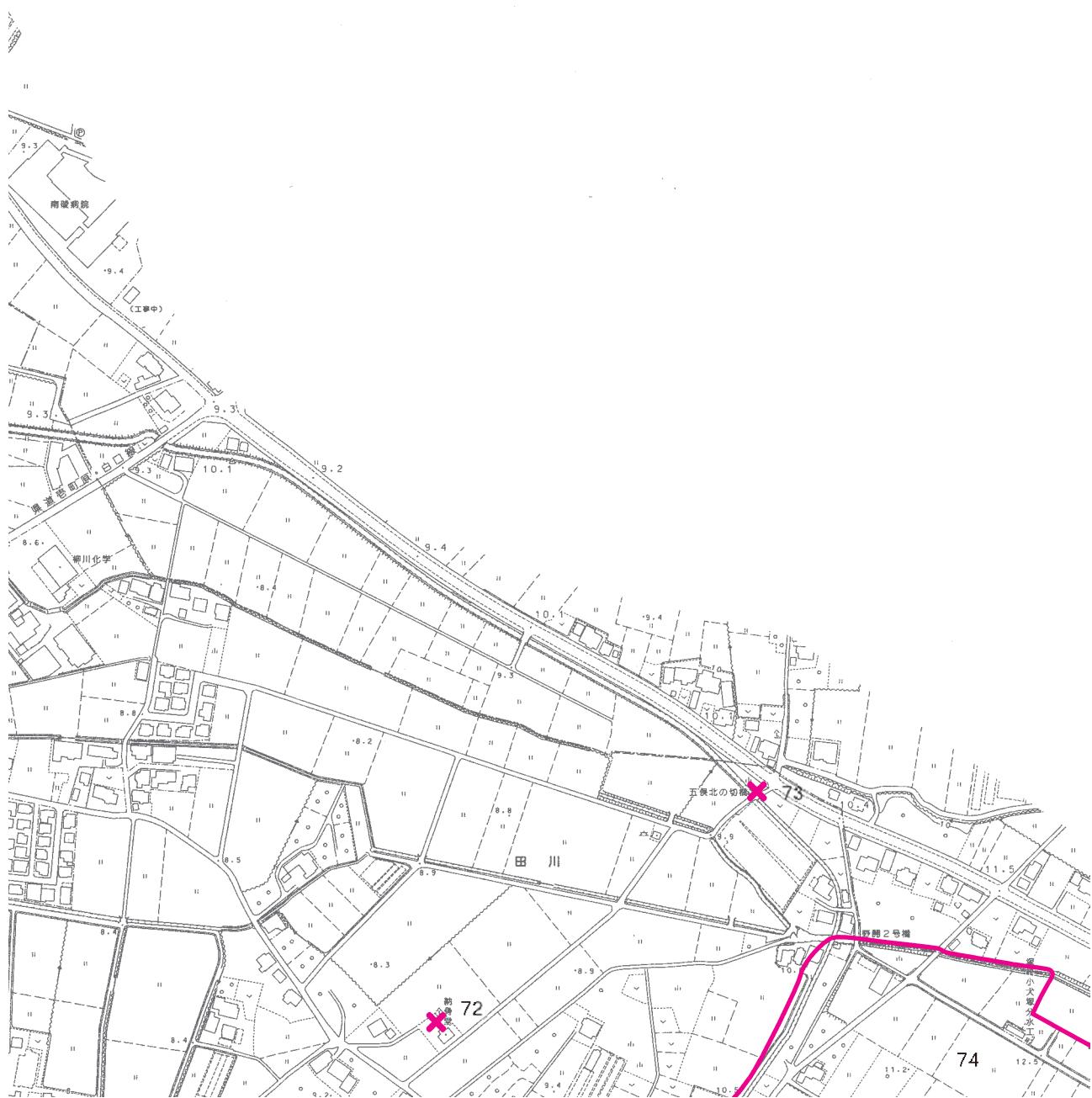


Fig. 7 遺跡等分布地図 6 (1/5,000)

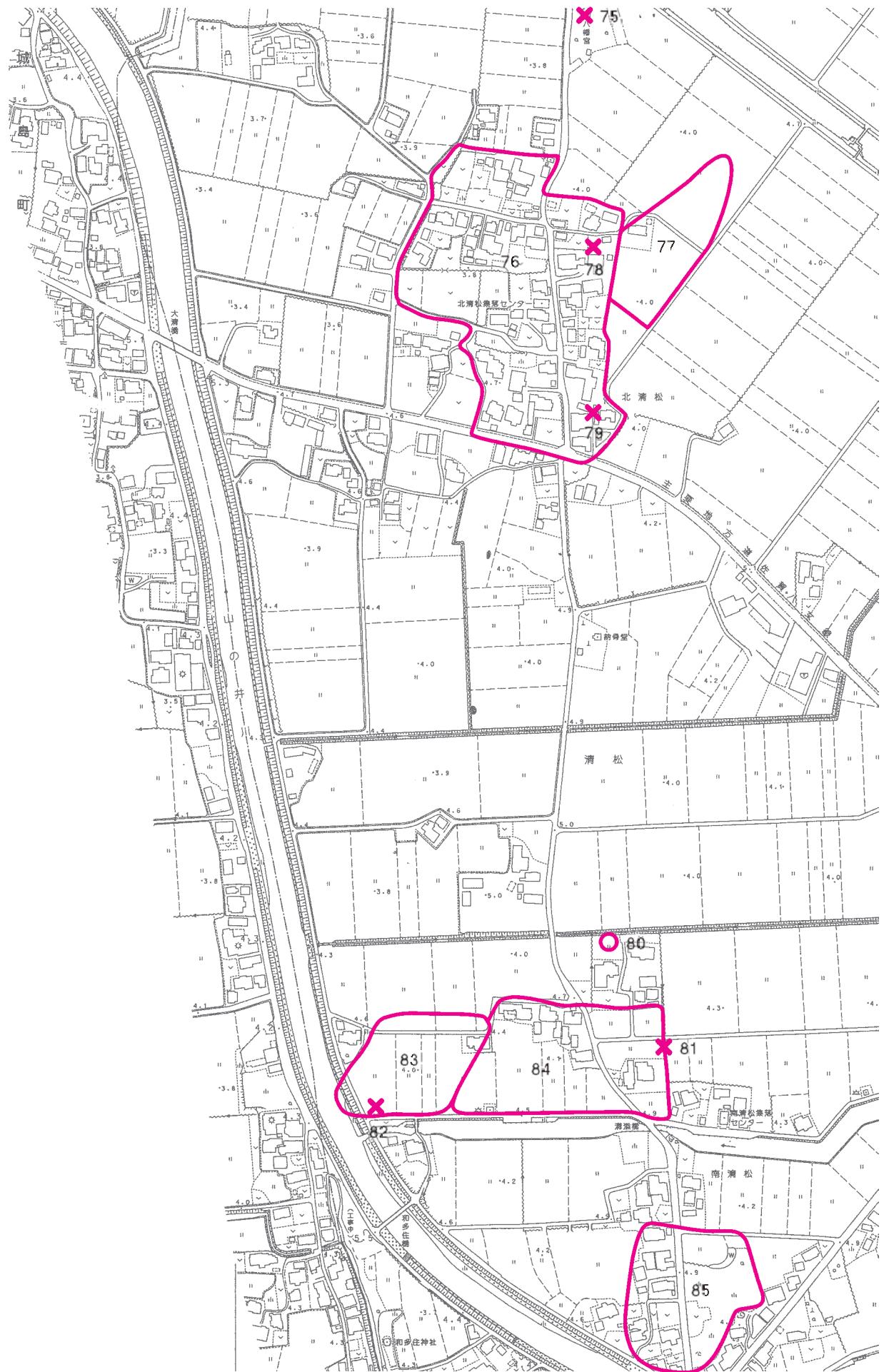


Fig. 8 遺跡等分布地図 7 (1/5,000)

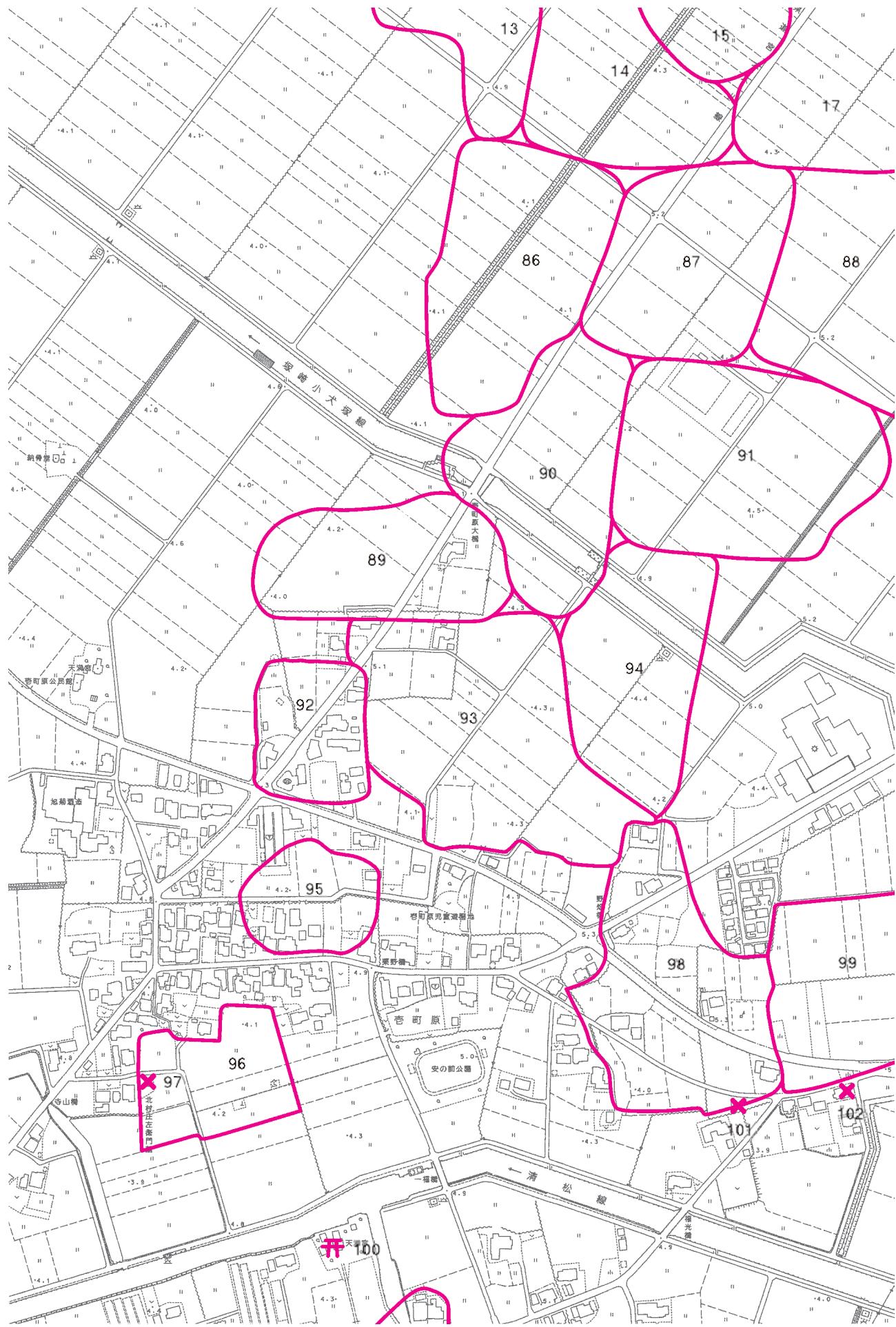


Fig. 9 遺跡等分布図 8 (1/5,000)

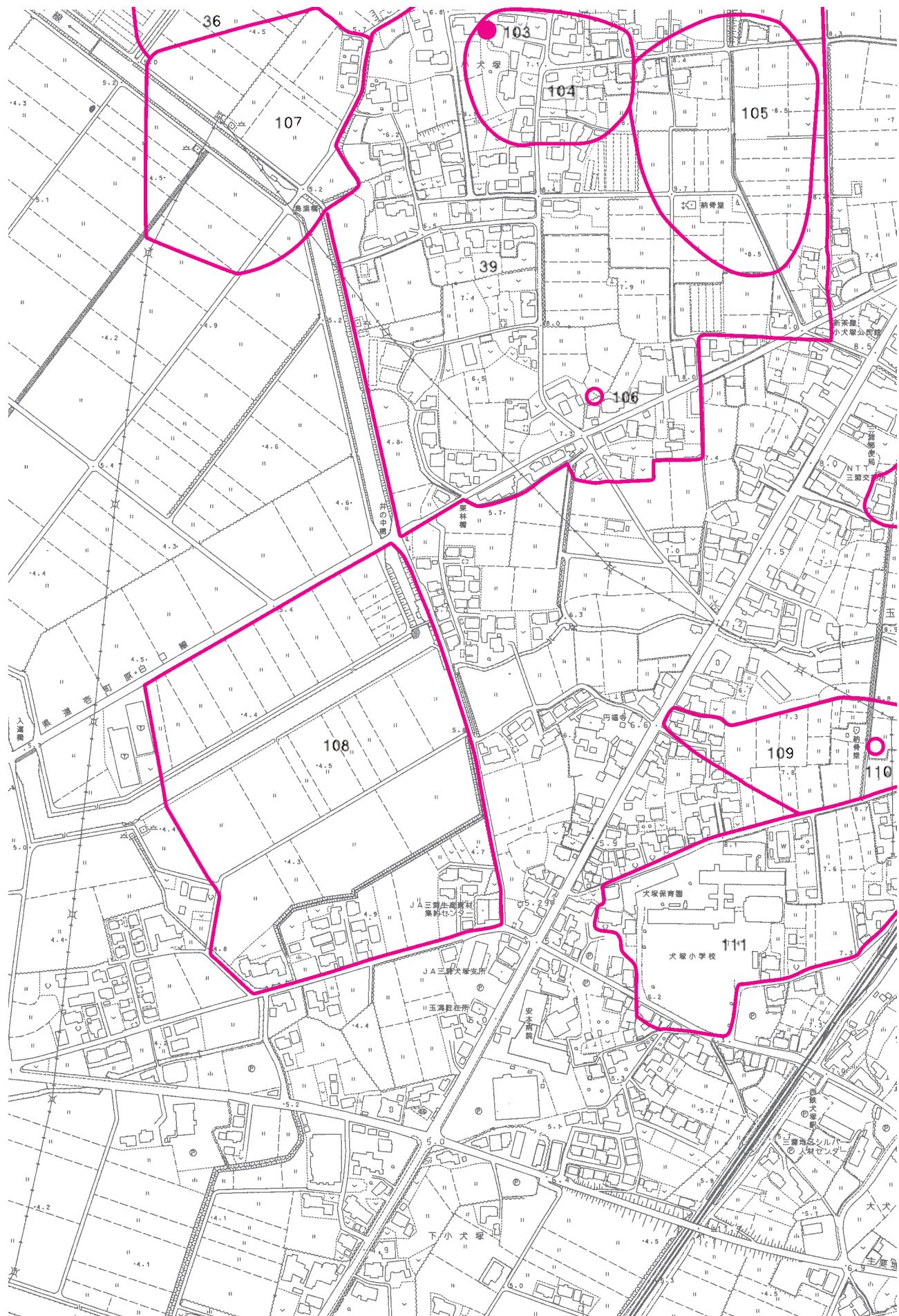


Fig.10 遺跡等分布地図 9 (1/5,000)

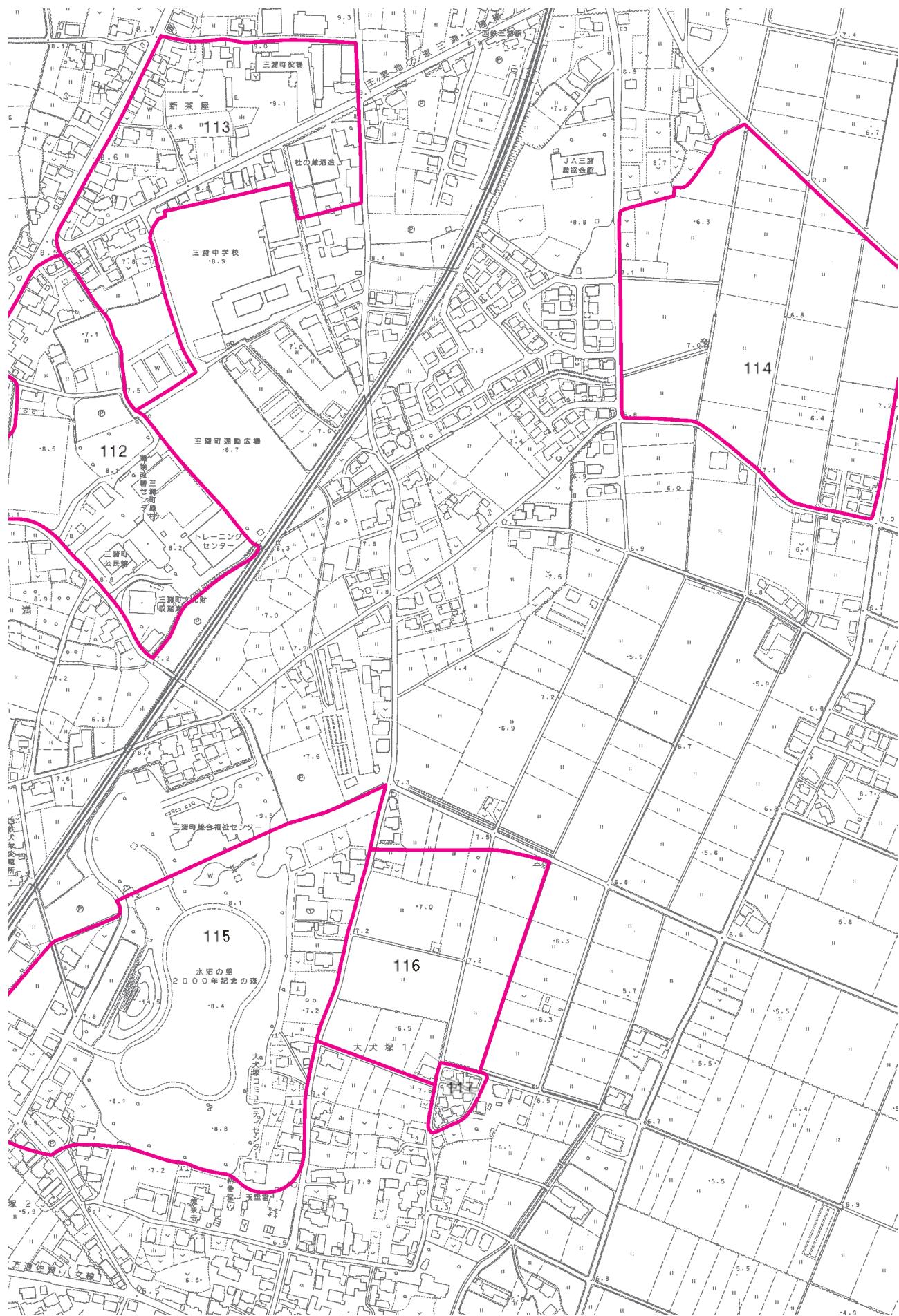


Fig.11 遺跡等分布地図10 (1/5,000)

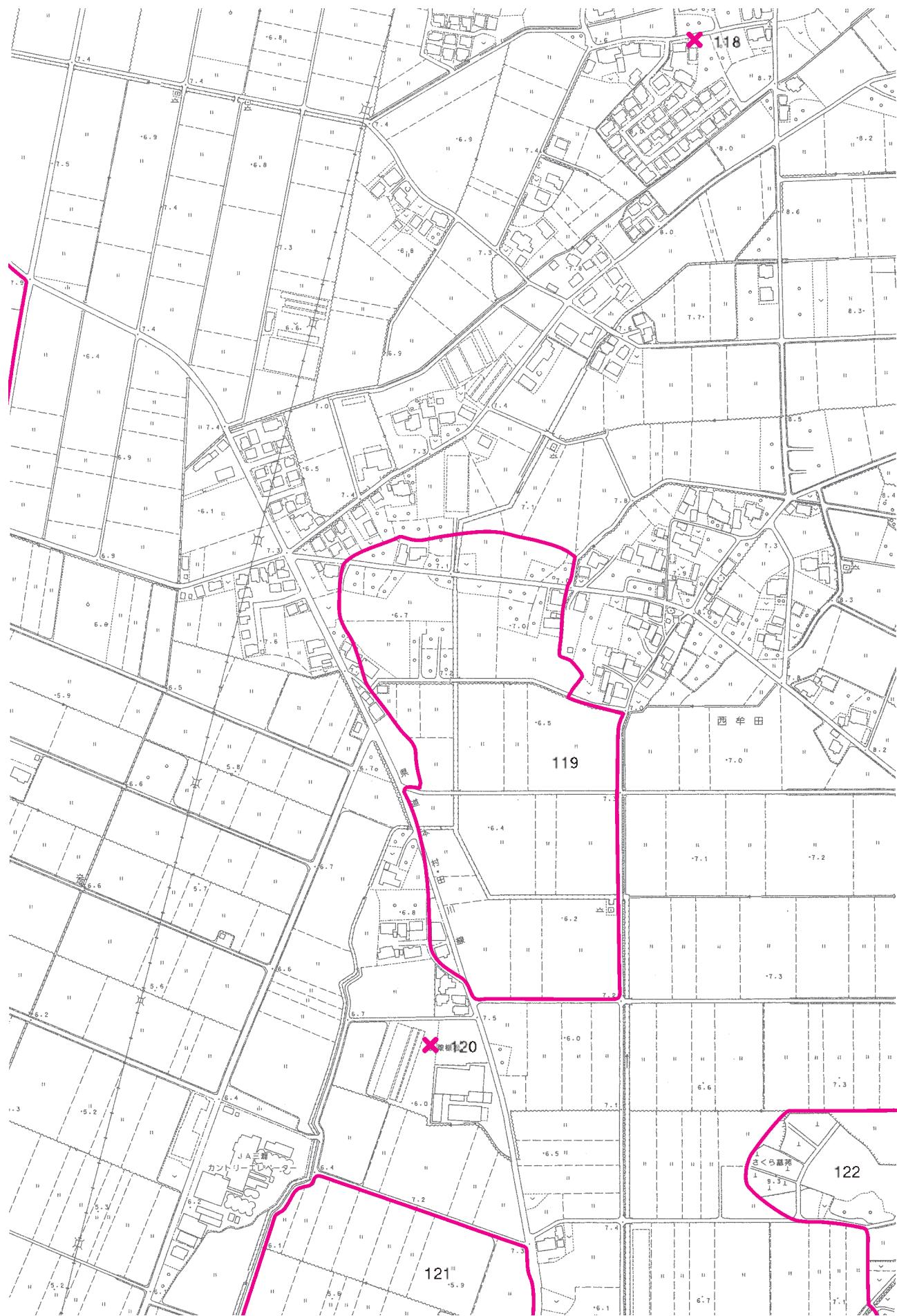


Fig.12 遺跡等分布地図11 (1/5,000)

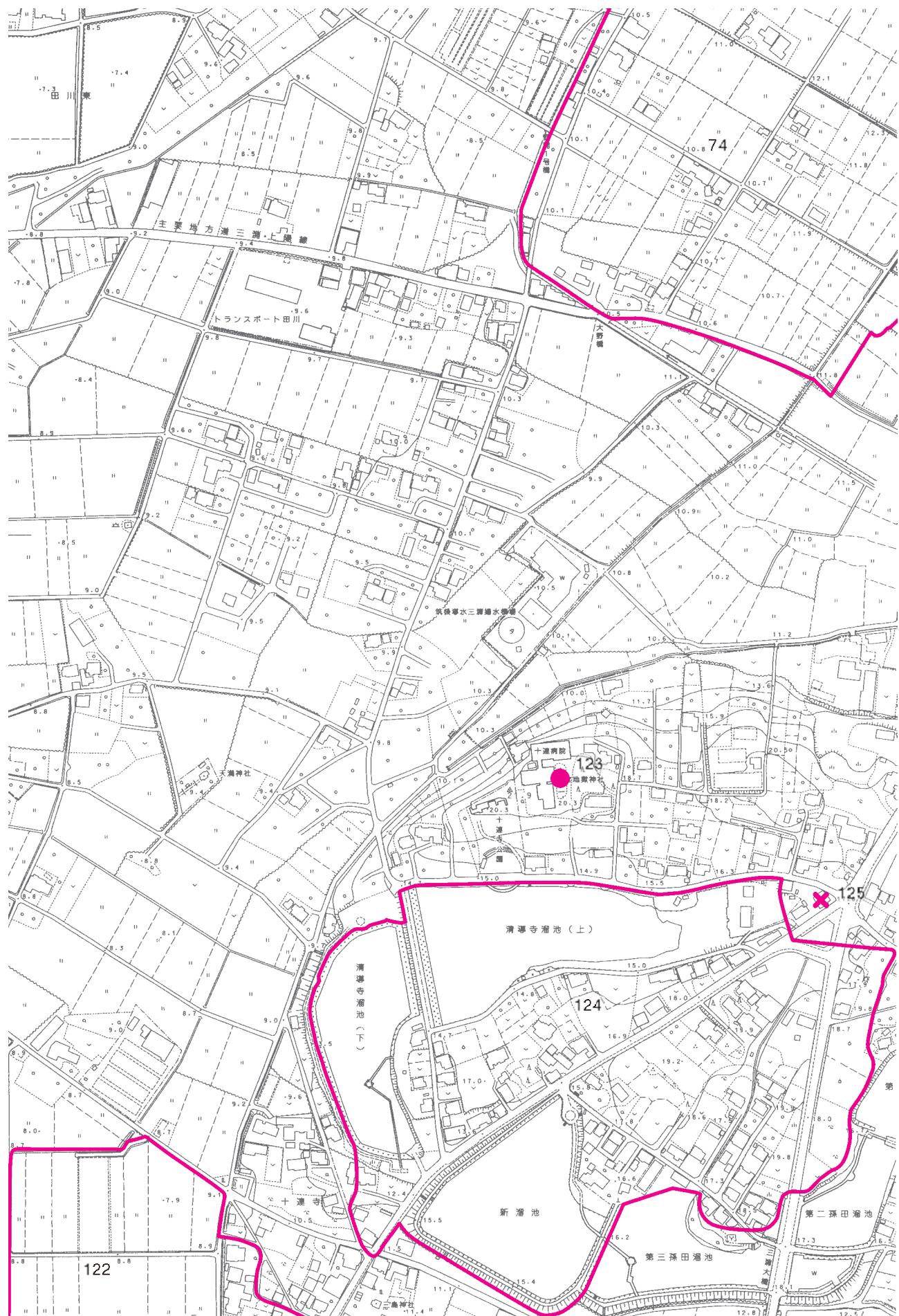


Fig.13 遺跡等分布地図12 (1/5,000)

久留米市



Fig.14 遺跡等分布地図13 (1/5,000)



Fig.15 遺跡等分布地図14 (1/5,000)

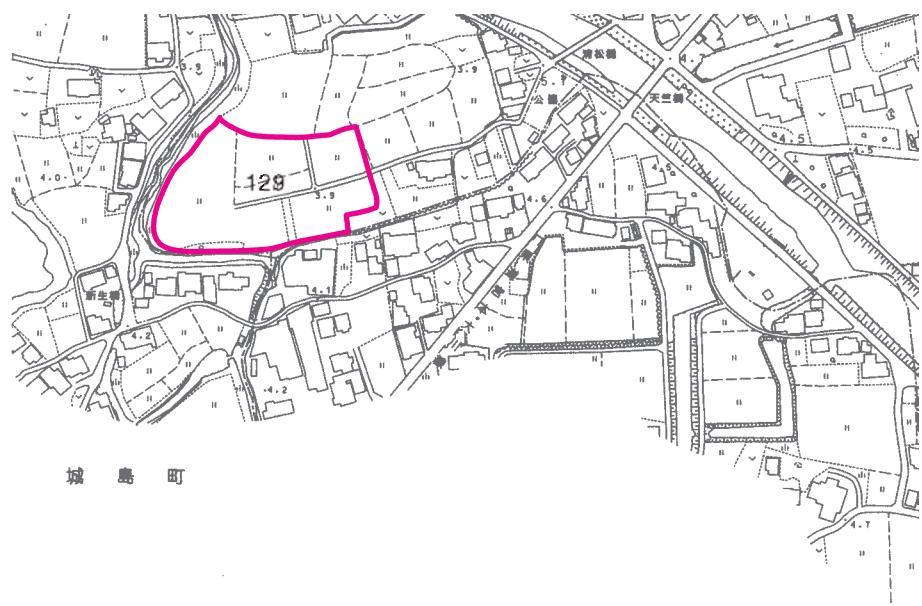


Fig. 16 遺跡等分布地図15 (1/5,000)

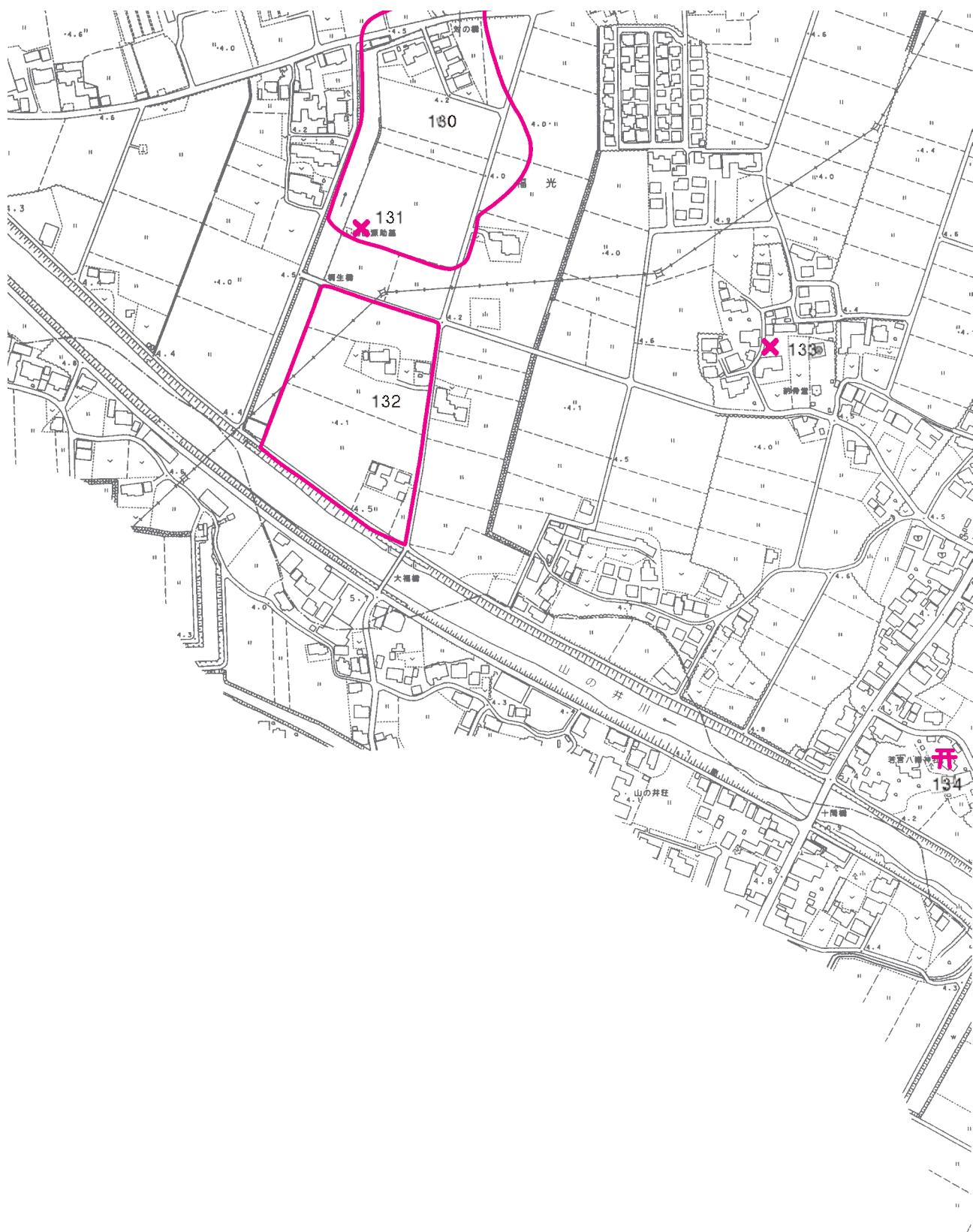


Fig.17 遺跡等分布地図16 (1/5,000)

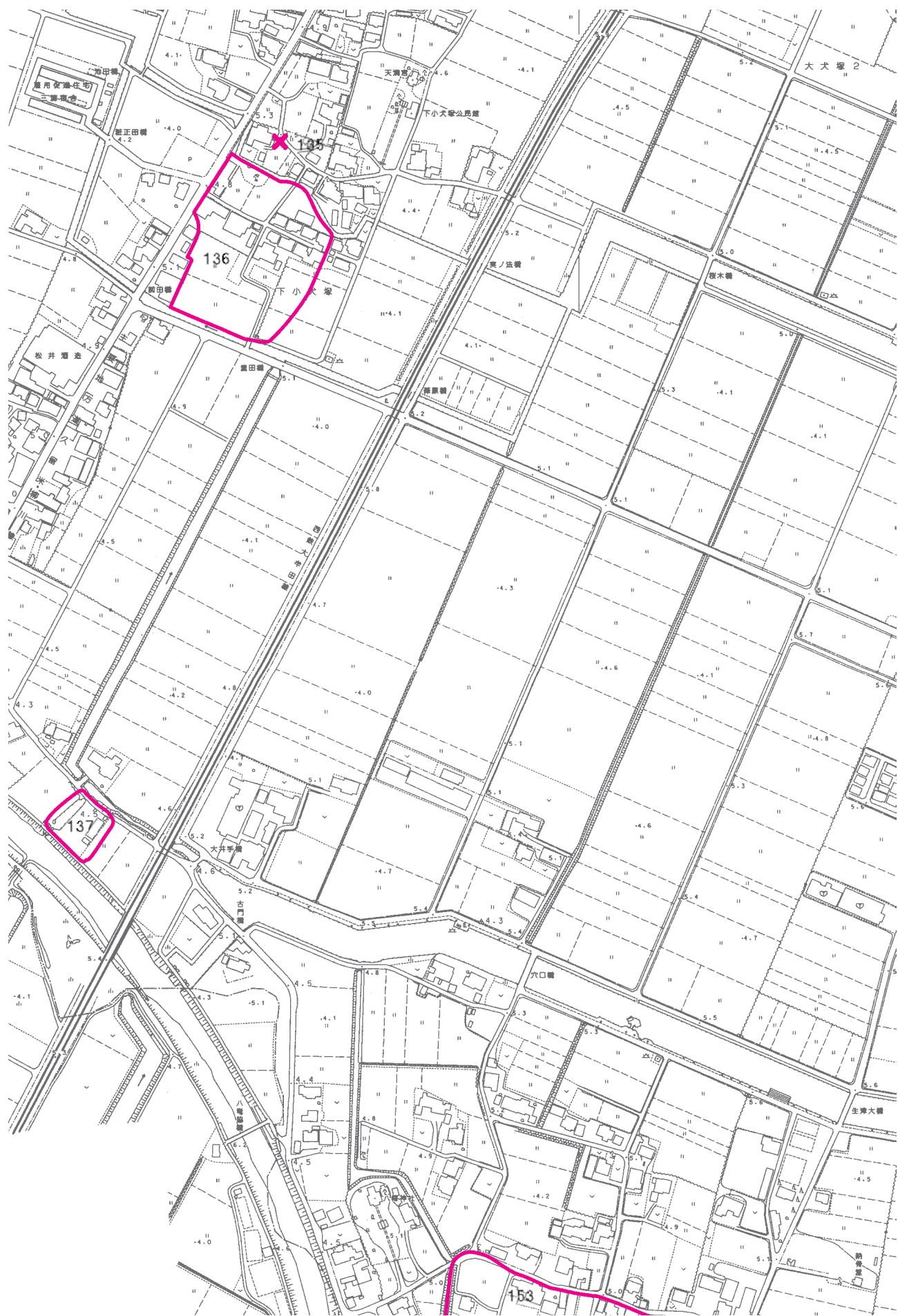


Fig.18 遺跡等分布地図17 (1/5,000)

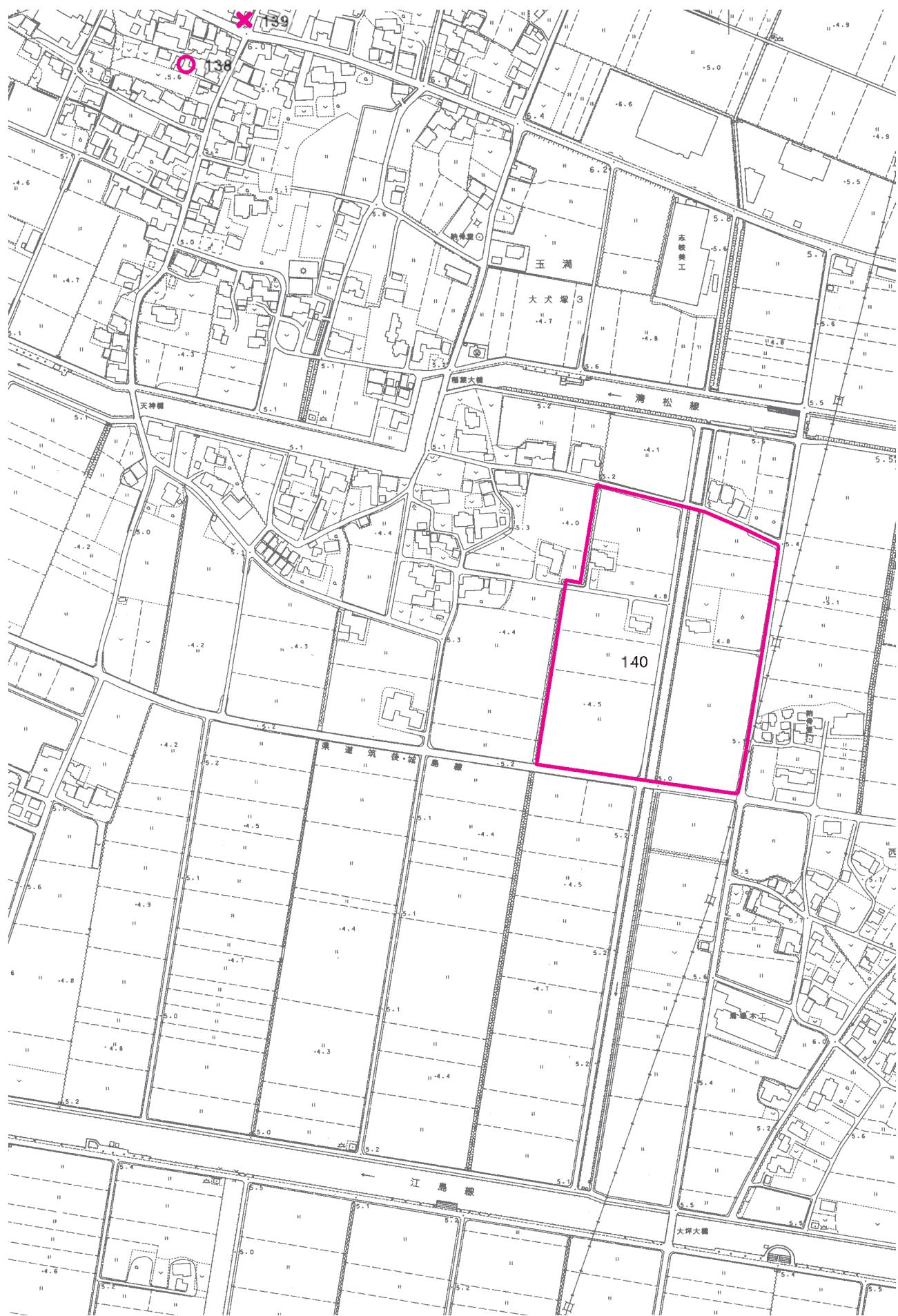


Fig.19 遺跡等分布地図18 (1/5,000)



Fig.20 遺跡等分布地図19 (1/5,000)



Fig.21 遺跡等分布図20 (1/5,000)

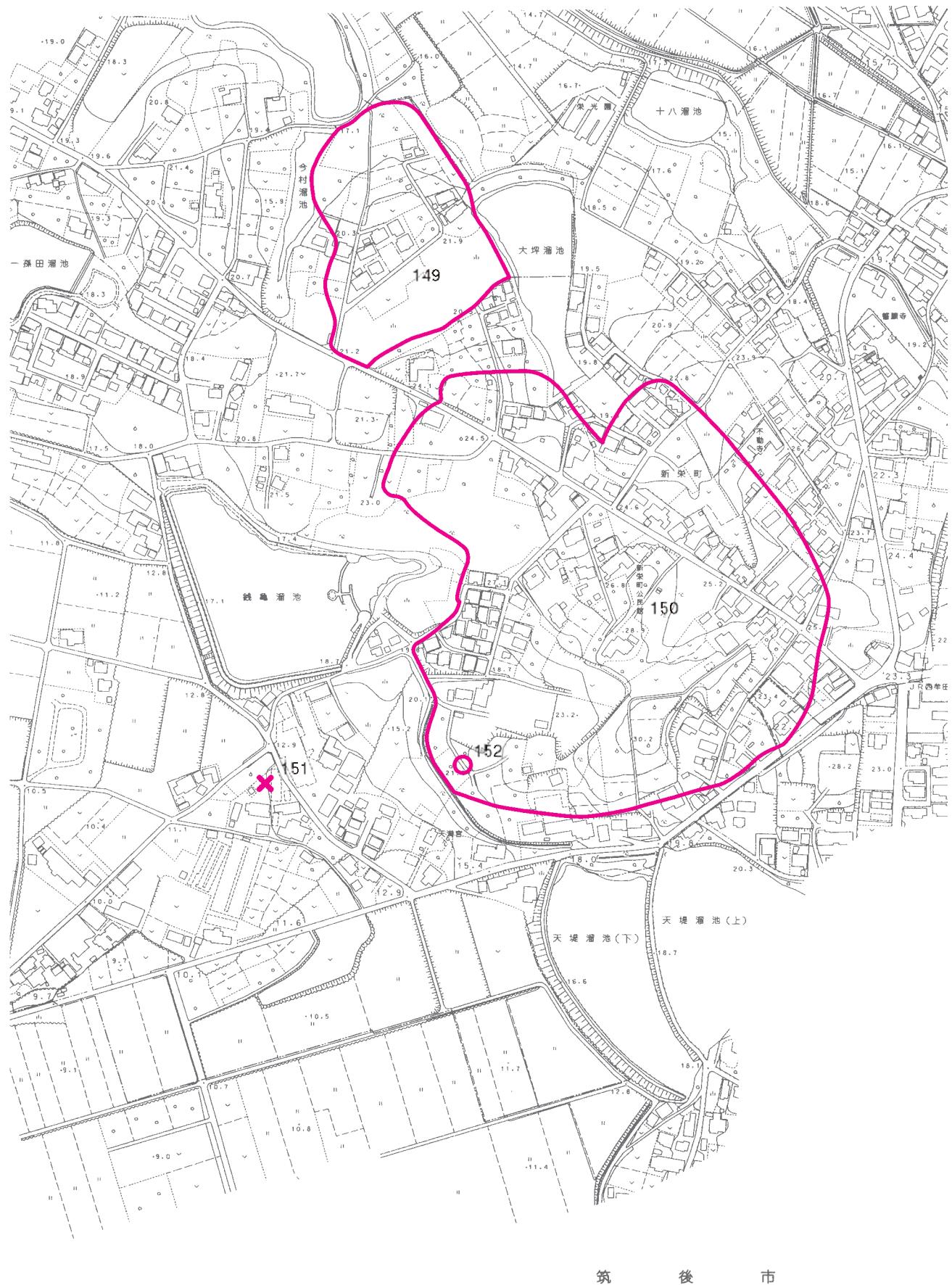


Fig.22 遺跡等分布地図21 (1/5,000)

筑後市

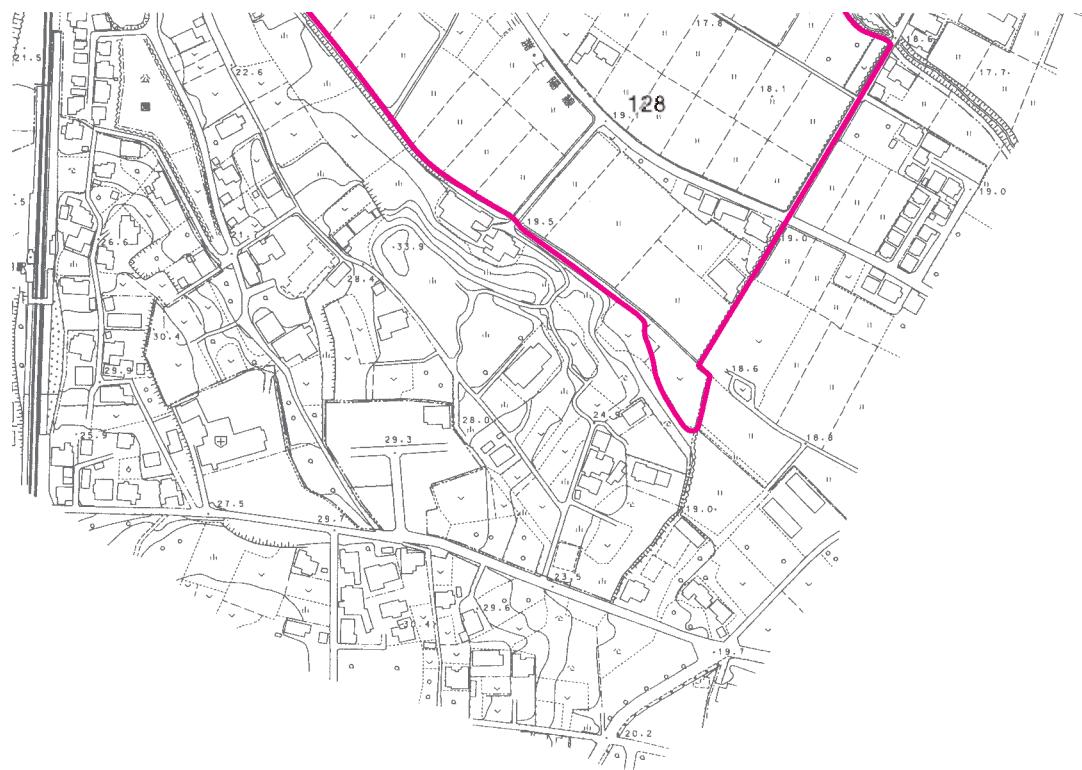


Fig.23 遺跡等分布地図22 (1/5,000)

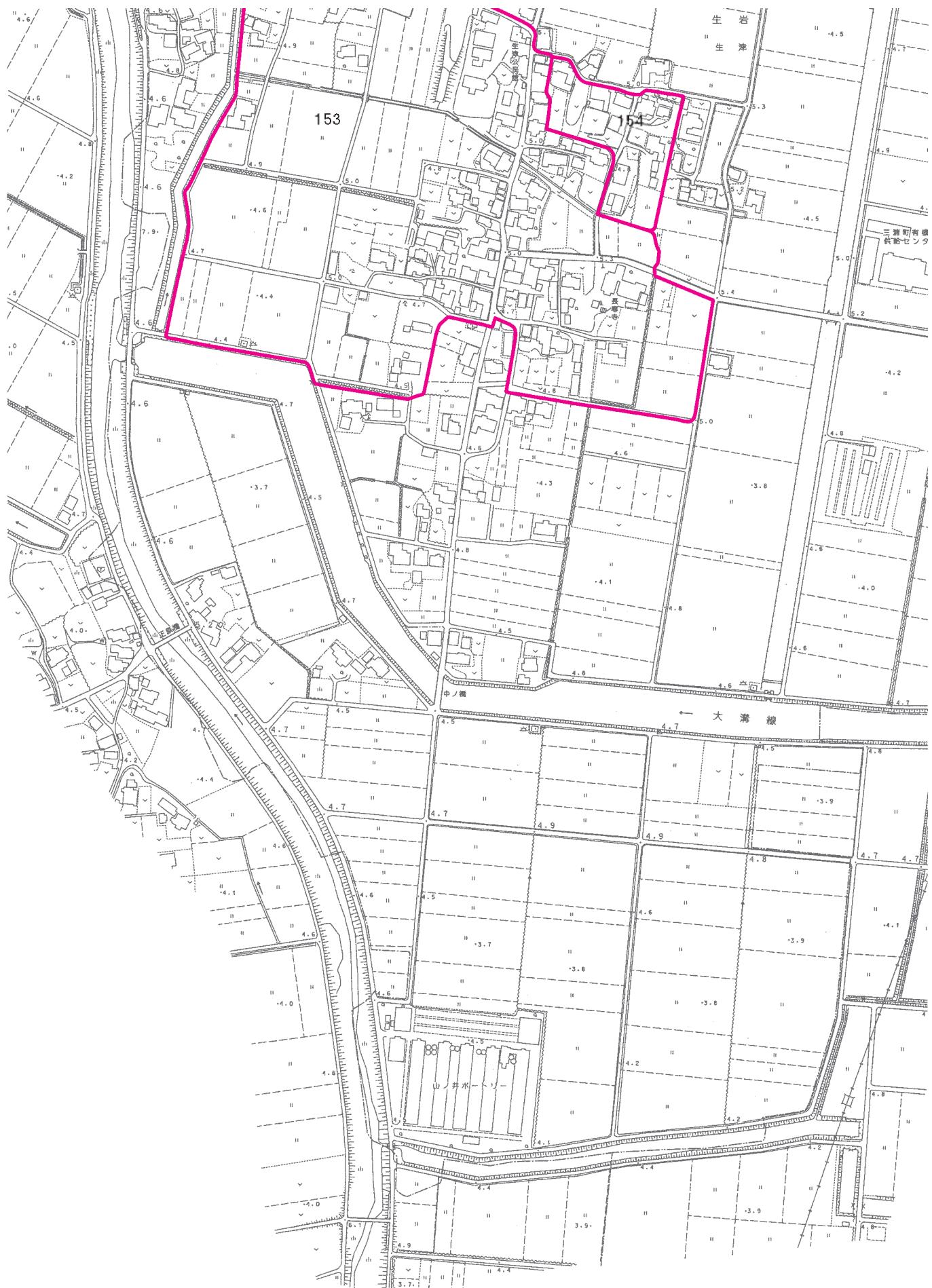


Fig.24 遺跡等分布地図23 (1/5,000)



Fig.25 遺跡等分布地図24 (1/5,000)

3. 採集遺物

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.1-1	PL.1-5	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	(復原) 21.7	—	(現存) 4.0	にぶい褐色、 黒褐色	にぶい褐色	ナデ	ナデ	砂粒 石英粒少量	口縁部に刻み目	200324 -479
Fig.1-2	PL.1-3	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.1	灰褐色	灰黄	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒多	口縁部に刻み目	200324 -372
Fig.1-3	PL.1-2	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.4	にぶい橙	にぶい赤褐色	ナデ→押え	ヨコナデ	砂粒	口縁部に刻み目	200324 -408
Fig.1-4	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.5	黒	灰褐色	ミガキ	ミガキ	砂粒		200324 -407
Fig.1-5	PL.1-7	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	(復原) 24.2	—	(現存) 9.1	にぶい橙	灰黄褐色	ナデ・押え	ヨコナデ →刷毛目	砂粒	胴部に断面三角 突帯	200324 -398
Fig.1-6	PL.1-4	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.0	灰褐色	灰褐色	ナデ	ナデ	精良	口縁部に刻み目 胴部に断面三角突帯	200324 -478
Fig.1-7	PL.1-10	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.6	にぶい橙	にぶい橙～橙	ナデ、押え	ナデ→刷毛目	精良 角閃石多く含む		200324 -421
Fig.1-8	PL.1-14	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 8.4	にぶい黄橙	にぶい赤褐色	ナデ、押え	ヨコナデ →刷毛目	砂粒多		200324 -403
Fig.1-9	PL.1-15	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	(復原) 24.2	—	(現存) 5.5	にぶい黄橙	にぶい褐色	ナデ、押え	ヨコナデ →刷毛目	砂粒多		200324 -404
Fig.1-10	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	(復原) 28.9	—	(現存) 4.0	にぶい橙、 灰褐色	灰褐色	ナデ	刷毛目	精良		200324 -425
Fig.1-11	PL.1-13	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 6.3	にぶい橙	橙	ナデ、押え	ナデ、刷毛目	砂粒多	胴部に沈線一条	200324 -401
Fig.1-12	PL.1-6	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 11.1	暗灰色	にぶい黄橙	ナデ→押え	ヨコナデ、ナデ	細砂粒	口縁部に刻み目、胴部 に断面三角凸帯二条	200324 -400
Fig.1-13	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	(復原) 28.4	—	(現存) 6.3	明褐色～褐灰	にぶい橙、 明赤褐色	ナデ	ナデ、刷毛目	砂粒 角閃石を少量		200324 -559
Fig.1-14	PL.1-1	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.7	にぶい黄橙	にぶい橙	ナデ、押え	ナデ	砂粒多	口縁部に刻み目、胴部 に断面三角突帯一条	200324 -402
Fig.1-15	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.1	淡赤茶褐色	淡灰褐色	ナデ	刷毛目	砂粒少		200324 -360
Fig.1-16	PL.1-9	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	(復原) 25.0	—	(現存) 8.4	にぶい黄橙	にぶい橙	ナデ、押え	ヨコナデ	細砂粒、雲母	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -397
Fig.1-17	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.7	橙	にぶい褐色	ナデ、ヨコナデ	ヨコナデ、 刷毛目	細砂粒、雲母		200324 -369
Fig.1-18	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.9	淡赤茶褐色	淡赤茶褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒少		200324 -359
Fig.1-19	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 5.7	灰黄褐色	にぶい赤褐色	ナデ、押え	ヨコナデ、 刷毛目	砂粒多	胴部に沈線一条	200324 -406
Fig.1-20	PL.1-8	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 9.8	褐灰色	にぶい褐色	ナデ ヨコナデ	ヨコナデ ナデ	砂粒多		200324 -405
Fig.1-21	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 2.1	にぶい橙 灰白～褐灰	浅黄橙	ナデ	刷毛目 ナデ	砂粒、角閃石、 石英、金雲母		200324 -482
Fig.1-22	PL.1-12	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 5.1	にぶい橙 褐灰色	にぶい橙	ナデ→押え？	ナデ	砂粒、石英、 金雲母	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -561
Fig.1-23	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 3.6	にぶい橙	橙	ナデ	ナデ 刷毛目→ナデ	細砂粒 金雲母	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -560
Fig.1-24	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 3.8	明赤褐色	明赤褐色	ナデ	ナデ	精良		200324 -424
Fig.1-25	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 2.2	にぶい橙	にぶい橙	ナデ	ナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -454
Fig.1-26	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 4.2	にぶい褐色	にぶい褐色	ナデ	ナデ押え ナデ	砂粒 石英、角閃石		200324 -484
Fig.1-27	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	鉢	—	—	(残存) 4.4	にぶい橙 褐灰色	橙、灰褐色	ナデ	刷毛目	砂粒 石英、赤色粒子		200324 -490
Fig.1-28	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.5	浅黄橙	浅黄橙	ナデ	口縁、刷毛目 ナデ	砂粒 角閃石		200324 -427
Fig.1-29	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.9	橙	橙	ナデ	ヨコナデ →刷毛目	細砂粒 雲母		200324 -370
Fig.1-30	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.2	淡茶褐色	淡白茶褐色	ナデ	ナデ→刷毛目	砂粒少		200324 -361

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.1-31	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	壺	—	—	(残存) 7.2	にぶい橙 ～明褐色	にぶい橙	ナデ	刷毛目	砂粒、角閃石、 石英、金雲母		200324 -481
Fig.1-32	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	鉢	—	—	(残存) 5.0	浅黃橙	にぶい黄橙	ナデ	刷毛目	精良 石英		200324 -489
Fig.1-33	PL-1-11	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 4.9	にぶい橙	にぶい橙	ナデ	刷毛目	精良		200324 -450
Fig.1-34	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 7.2	にぶい黄褐色	橙	ナデ →ヨコナデ	ヨコナデ →刷毛目	砂粒		200324 -382
Fig.1-35	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕棺	(復原) 34.2	—	(残存) 3.7	にぶい橙	橙	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒多 雲母		200324 -394
Fig.1-36	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.4	灰褐色	橙	ナデ、押え	ヨコナデ 刷毛目	砂粒 雲母		200324 -399
Fig.1-37	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.0	橙	橙	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒		200324 -383
Fig.1-38	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 4.4	橙	橙	刷毛目 ナデ	ヨコナデ	砂粒多 雲母	口縁内側を打ち 欠く	200324 -395
Fig.1-39	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 4.7	灰黄褐色	にぶい黄橙	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒多		200324 -381
Fig.2-1	PL-1-26	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	6.3	(現存) 5.8	にぶい黄橙～ にぶい橙	浅黃橙	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、角閃石、 金雲母、石英		200324 -520
Fig.2-2	PL-1-20	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	6	(残存) 7.0	橙～にぶい黄橙	黒 褐灰	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	砂粒、角閃石、 金雲母、石英		200324 -518
Fig.2-3	PL-1-24	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	5.9	(現存) 4.1	橙～黄橙	にぶい黄橙	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -516
Fig.2-4	PL-1-23	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	5.9	(現存) 3.1	赤橙 にぶい赤	にぶい赤褐色	ナデ	ナデ	砂粒 角閃石、石英		200324 -517
Fig.2-5	PL-1-27	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(現存) 6.1	褐灰色 暗灰色	灰褐色	刷毛目 ナデ	押え	砂粒 石英		200324 -519
Fig.2-6	PL-1-19	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	7.2	(現存) 4.0	赤褐色～暗赤 灰、にぶい橙	にぶい褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、角閃石、 石英、金雲母		200324 -521
Fig.2-7	PL-1-16	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	9	(現存) 5.1	にぶい黄橙 褐灰色	にぶい黄橙	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、角閃石、 石英、雲母		200324 -525
Fig.2-8	PL-1-25	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	5.4	(現存) 3.3	にぶい黄橙～ 灰黄褐色、橙	灰黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	細砂粒 角閃石、金雲母		200324 -515
Fig.2-9	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	支脚	—	5	(現存) 2.7	にぶい褐色～ にぶい橙	—	ナデ、押え	—	砂粒		200324 -557
Fig.2-10	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	6.2	(現存) 3.9	灰褐色、橙	褐灰色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、石英、 金雲母、角閃石		200324 -523
Fig.2-11	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	6	(現存) 4.3	橙、にぶい橙	にぶい黄褐色 褐灰色	板ナデ ナデ	ナデ	砂粒、石英、 金雲母、角閃石		200324 -522
Fig.2-12	PL-1-22	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 4.0	にぶい黒	にぶい黄橙	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒		200324 -392
Fig.2-13	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	壺	—	(復原) 6.2	(現存) 3.3	橙、褐灰色	赤褐色～橙	ナデ	ナデ	精良		200324 -550
Fig.2-14	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 5.8	にぶい黄橙	にぶい黄橙	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	細砂粒 角閃石	内面の底が焦げ ている	200324 -393
Fig.2-15	PL-1-17	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	9.6	(現存) 6.3	にぶい褐色、 黒	灰白色	板ナデ ナデ	ナデ	砂粒 角閃石		200324 -390
Fig.2-16	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	壺	—	(復原) 8.4	(現存) 2.5	黒褐色	褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	細砂粒		200324 -552
Fig.2-17	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	(復原) 9.0	(現存) 8.9	灰黄褐色	橙	刷毛目 ナデ	刷毛目 ナデ、押え	砂粒 雲母、角閃石	外面一部に煤附 着内面底に焦げ	200324 -391
Fig.2-18	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	壺	—	(復原) 5.6	(現存) 5.4	浅黄色	にぶい黄橙	ナデ	ナデ	砂粒多		200324 -388
Fig.2-19	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	(復原) 7.0	(現存) 2.5	暗赤灰色 にぶい橙	赤橙、赤黒、 橙	刷毛目	刷毛目	細砂粒		200324 -529
Fig.2-20	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.75	(現存) 3.6	赤、にぶい橙、 褐灰色	にぶい橙	ミガキ ナデ	不明	砂粒		200324 -526
Fig.2-21	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甕	—	8.8	(残存) 3.8	茶褐色	黑茶褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒 雲母		200324 -366

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.2-22	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	壺	—	(復原) 4.8	(現存) 3.0	黒	浅黄色	ナデ→ミガキ	ナデ→ミガキ	砂粒 角閃石		200324 -389
Fig.2-23	PL1-21	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甌	—	(復原) 9.0	(現存) 7.8	にぶい黄橙 褐灰色	にぶい橙	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	精良		200324 -524
Fig.2-24	PL1-18	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甌	—	(復原) 8.4	(現存) 7.6	淡黄色	暗灰色	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	細砂粒		200324 -385
Fig.2-25	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甌	—	(復原) 11.3	(現存) 5.0	橙、にぶい橙	にぶい橙	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	砂粒 角閃石		200324 -530
Fig.2-26	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	甌	—	(復原) 7.1	(現存) 3.3	橙、暗褐灰色	にぶい褐色	ミガキ	ミガキ	細砂粒、赤色粒 子、角閃石		200324 -531
Fig.2-27	PL1-28	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	高坏	(復原) 21.25	—	(現存) 7.1	橙	黄橙	ナデ? ミガキ	ミガキ	細砂粒 石英		200324 -508
Fig.2-28	PL1-29	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	高坏	(復原) 15.0	—	(現存) 5.2	橙	橙	ナデ ミガキ?	ナデ→ミガキ	細砂粒		200324 -558
Fig.2-29	PL1-30	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	器台	8.6	—	(現存) 9.3	灰黄色	暗灰色	ケズリ	ケズリ 押え	砂粒 角閃石		200324 -387
Fig.2-30	PL1-31	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	支脚	—	6	(現存) 6.6	にぶい橙、 褐灰色	—	ナデ→押え	—	砂粒 石英		200324 -556
Fig.2-31	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	器台	—	(復原) 13.2	(現存) 7.8	橙、褐灰色、 にぶい褐色	橙、褐灰色、 にぶい褐色	刷毛目、 ヨコナデ	ナデ、押え、 刷毛目	精良 石英、金雲母		200324 -491
Fig.2-32	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	器台	—	(復原) 11.2	(現存) 8.3	茶褐色	茶褐色	ナデ	刷毛目	精良		200324 -364
Fig.2-33	—	高三瀧遺跡群 (貝塚御廟塚)	弥生	器台	—	(復原) 7.2	(現存) 6.5	茶褐色	淡茶白褐色	ナデ	指押え		外器面に化粧土	200324 -363
Fig.3-1	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	(復原) 31.0	—	(現存) 3.9	にぶい黄橙	にぶい橙	ヨコナデ 刷毛目→ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -038
Fig.3-2	PL2-1	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	—	(現存) 4.8	橙色	橙色	横方向のミガ キ頭部に暗文	横方向のミガ キ	砂粒少	口縁端に刻み目 脇部に断面三角突帯2条	200324 -202
Fig.3-3	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	—	—	(現存) 4.1	にぶい黄橙	浅黄橙	ヨコナデ、 刷毛目	ヨコナデ	砂粒		200324 -085
Fig.3-4	PL1-39	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	—	(現存) 4.8	黑茶褐色	黑茶褐色	刷毛目	剥離により 不明	砂粒 雲母	口縁端に刻み目	200324 -264
Fig.3-5	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	—	—	(現存) 4.9	灰黑色、淡茶 褐色	明赤褐色	風化により 不明	風化により 不明	砂粒 雲母		200324 -250
Fig.3-6	PL1-40	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	—	(現存) 5.1	明赤茶褐色	茶褐色	刷毛目	刷毛目	砂粒 雲母	口縁端に刻み目	200324 -265
Fig.3-7	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	—	—	(現存) 5.7	灰黄色～褐灰 色、灰色	灰白色～にぶ い黄橙、灰色	ナデ	ナデ ケズリ	精良 石英		200324 -207
Fig.3-8	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	(復原) 28.8	—	(現存) 2.8	浅黄橙	にぶい黄色	ヨコナデ	ヨコナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -060
Fig.3-9	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	—	—	(現存) 5.7	褐灰色～灰色	褐灰色	ナデ	ナデ ナデ、ケズリ	細砂粒		200324 -208
Fig.3-10	PL1-38	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	(復原) 14.2	—	(現存) 8.6	淡暗茶色	淡暗白茶灰色	風化により 不明	ヨコナデ ケズリ?	砂粒 角閃石		200324 -293
Fig.3-11	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	(復原) 19.1	—	(現存) 10.7	淡茶黑色	淡暗白茶色	刷毛目 ヨコナデ	ヨコナデ ケズリ?	細砂粒 石英、金雲母	外器面に煤付着	200324 -294
Fig.3-12	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	(復原) 15.0	—	(現存) 5.8	にぶい黄橙	橙	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ 刷毛目	砂粒		200324 -100
Fig.3-13	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	(復原) 16.0	—	(現存) 4.1	にぶい橙	にぶい橙	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ ケズリナデ	細砂粒		200324 -061
Fig.3-14	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甌	(復原) 38.0	—	(現存) 6.8	淡乳灰茶色	淡乳茶色	ヨコナデ 刷毛目	刷毛目	細砂粒 金雲母		200324 -295
Fig.3-15	PL1-36	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	(復原) 14.8	—	(現存) 5.0	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ 刷毛目	砂粒多		200324 -117
Fig.3-16	PL1-33	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	(復原) 20.4	—	(現存) 8.7	淡白茶褐色	淡白茶褐色	刷毛目	刷毛目	細砂粒少		200324 -248
Fig.3-17	PL1-35	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	15.8	—	(現存) 4.5	茶褐色	茶褐色	ナデ 刷毛目	ナデ	細砂粒少		200324 -243
Fig.3-18	PL1-34	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	(復原) 19.8	—	(現存) 6.0	にぶい黄橙～ 黒褐色	浅黄色～ 灰黄色	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -063

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.3-19	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 4.9	茶褐色	茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少		200324 -259
Fig.3-20	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 6.3	灰黄褐色	橙	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -111
Fig.3-21	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 5.0	赤茶褐色	赤茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少	残存内外面に 朱塗りを施す	200324 -257
Fig.3-22	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 3.2	にぶい橙	橙	ナデ	ナデ	砂粒角閃石	残存内外面に 朱塗りを施す	200324 -112
Fig.3-23	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 5.3	茶褐色 黒茶褐色	茶褐色 黒茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少		200324 -258
Fig.3-24	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 4.3	にぶい黄橙	にぶい黄橙	ヨコナデ ナデ		砂粒		200324 -114
Fig.3-25	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 7.1	にぶい黄橙	灰黄色	風化により 不明	風化により 不明	砂粒	頸部に沈線一条、胴部 に断面台形突帯1条	200324 -110
Fig.3-26	PL1-32	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	(復原) 20.7	—	(現存) 18.8	淡茶褐色 黒茶褐色	淡茶褐色	ナデ 刷毛目	ナデ 刷毛目	砂粒少	239と同一個体	200324 -238
Fig.3-27	PL1-37	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.0	(現存) 12.8	淡茶褐色 黒茶褐色	淡茶褐色	ナデ 刷毛目	ナデ 刷毛目	砂粒少	238と同一個体	200324 -239
Fig.3-28	PL2-3	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	—	(現存) 11.2	灰黄～黄灰 にぶい褐灰色	灰黄～黄灰	刷毛目	ナデ	砂粒 石英		200324 -206
Fig.4-1	PL2-2	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	(復原) 17.0	—	(現存) 24.3	淡茶褐色	淡灰色～茶褐色 ～濃灰色	刷毛目	刷毛目	精良 砂粒少、雲母	肩部分に半同心円状 に線刻文様を施す	200324 -236
Fig.4-2	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	(復原) 14.3	—	(現存) 8.0	灰白色～ にぶい黄橙色	灰黄色～ にぶい黄橙色	ナデ、ケズリ ナデ	ナデ 刷毛目	赤色粒子、砂粒		200324 -205
Fig.4-3	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	—	(現存) 15.5	にぶい橙、灰白～ にぶい黄褐色	橙～にぶい橙	刷毛目	刷毛目	多量の石粒 砂粒	頸部に断面三角 突帯一条施す	200324 -203
Fig.4-4	PL2-4	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 7.4	(現存) 4.7	橙	橙	刷毛目 ナデ	指ナデ	砂粒 雲母		200324 -118
Fig.4-5	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	6.3	(現存) 4.2	浅黄色	浅黄色	ケズリ	ナデ、指押え	細砂粒		200324 -068
Fig.4-6	PL2-7	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 8.6	(現存) 6.4	にぶい橙	黒	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒 角閃石		200324 -119
Fig.4-7	PL2-8	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	5.7	(現存) 4.6	乳白茶色	乳白茶色	刷毛目 押え	ナデ?	細砂粒		200324 -268
Fig.4-8	PL2-5	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	9.4	(現存) 5.5	淡乳茶褐色 淡乳白茶色	淡乳白茶色	刷毛目 ナデ	ケズリ 押え	砂粒 角閃石		200324 -292
Fig.4-9	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(現存) 4.9	灰褐色	灰色	刷毛目	ナデ 刷毛目→板ナデ	砂粒		200324 -140
Fig.4-10	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	(復原) 6.5	(現存) 10.0	淡白茶色、 淡黒色	淡白茶色	ケズリ?	刷毛目	砂粒 角閃石		200324 -296
Fig.4-11	PL2-9	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	8.3	(現存) 4.1	乳肌色	—	刷毛目 ナデ	—	精良 角閃石		200324 -282
Fig.4-12	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.8	(現存) 4.3	にぶい黄橙	灰黄褐色	刷毛目 押え、ナデ	押え、ナデ	精良		200324 -046
Fig.4-13	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	—	(復原) 9.0	(現存) 3.0	浅黄色	灰黄色	刷毛目→ナデ	ナデ	細砂粒 角閃石	内面に若干の煤 付着	200324 -135
Fig.4-14	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 7.4	(現存) 4.9	赤茶褐色	黒灰色	刷毛目 ナデ	指押え ナデ	精良 角閃石		200324 -281
Fig.4-15	PL2-6	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	8	(現存) 3.5	黑色	灰色	刷毛目 ナデ	指ナデ 板ナデ	砂粒		200324 -121
Fig.4-16	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.6	(現存) 4.7	灰黄褐色～黒 ～褐灰色	灰黄褐色 ～褐灰色	刷毛目 ヘラケズリ	ケズリ→ナデ	細砂粒		200324 -066
Fig.4-17	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 6.1	乳白淡茶色	乳白淡茶色	磨滅により 不明	磨滅により 不明	細砂粒 金雲母、角閃石		200324 -291
Fig.4-18	PL2-12	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	高坏	—	—	(現存) 6.9	橙	橙	剥離により 不明	ナデ シボリ、ナデ	砂粒		200324 -078
Fig.4-19	PL2-11	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	高坏	—	—	(現存) 9.0	赤色	にぶい黄橙	ミガキ ナデ	ナデ、シボリ	外面は朱塗り		200324 -155
Fig.4-20	PL2-10	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	高坏	—	—	(現存) 12.1	橙～にぶい橙 にぶい黄橙	橙～明赤褐色	ミガキ	ナデ	砂粒多 石英、長石		200324 -217

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.4-21	PL-2-13	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	器台	(復原) 11.0	—	(現存) 12.6	淡乳茶褐色	茶乳褐色	刷毛目	刷毛目 ケズリ	精良 角閃石少		200324 -277
Fig.4-22	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	器台	(復原) 13.0	—	(現存) 10.7	にぶい橙	にぶい橙	刷毛目 ヨコナデ	ナデ、刷毛目、 ヨコナデ	砂粒		200324 -150
Fig.4-23	PL-2-14	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	器台	13.7	13.15	17.4	茶褐色	茶褐色	指ナデ ヨコナデ	ヨコナデ 指ナデ	精良		200324 -266
Fig.4-24	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	器台	(復原) 10.8	—	(現存) 9.6	にぶい黄橙	にぶい黄橙	刷毛目 ヨコナデ	ヨコナデ ナデ、押え	砂粒		200324 -147
Fig.4-25	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	器台	—	(復原) 11.0	(現存) 5.4	浅黄色	浅黄色	ヘラケズリ →ナデ	シボリ	砂粒		200324 -225
Fig.4-26	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	器台	—	(復原) 13.5	(現存) 7.9	にぶい黄橙、 にぶい橙、黄灰	褐灰色～ にぶい黄橙色	刷毛目 刷毛目→ナデ	ナデ ナデ、ケズリ	砂粒 石英、長石		200324 -220
Fig.4-27	PL-2-16	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	鉢	(復原) 11.3	(復原) 6.0	8.8	乳白茶色	乳白茶色	ヨコナデ、 刷毛目	ナデ	精良 石英		200324 -267
Fig.4-28	PL-2-15	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	壺	18.3	—	(現存) 8.7	淡茶褐色	淡茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒 雲母	器面全体に化粧 土を施す	200324 -240
Fig.4-29	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	土師器	杯	(復原) 15.4	—	(現存) 10.1	褐色	褐色	風化により不 明、ケズリか	刷毛目	細砂粒		200324 -297
Fig.5-1	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 1.6	灰黄～ にぶい黄橙	浅黄	ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -042
Fig.5-2	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.8	橙	にぶい黄橙	風化により 不明	風化により 不明	微砂粒		200324 -043
Fig.5-3	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.4	にぶい黄橙	浅黄橙	風化により 不明	風化により 不明	砂粒		200324 -044
Fig.5-4	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.8	(現存) 4.3	にぶい黄橙	灰黄褐色	刷毛目 押え、ナデ	押え、ナデ	精良		200324 -047
Fig.5-5	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	高壺	—	—	(現存) 3.8	橙	にぶい黄橙	ヨコナデ 暗文施す	ヨコナデ	細砂粒		200324 -032
Fig.5-6	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.1	にぶい黄橙	にぶい褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	精良		200324 -029
Fig.5-7	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.5	にぶい黄橙	灰黄褐色	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ	砂粒		200324 -031
Fig.5-8	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 3.4	にぶい黄橙	にぶい黄橙	ヘラケズリ	ヘラケズリ	砂粒		200324 -023
Fig.5-9	PL-3-4	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	甕	—	6.7	(現存) 5.7	乳白茶色	乳白茶色	刷毛目 ナデ→押え	押え→ナデ	砂粒		200324 -019
Fig.5-10	PL-3-5	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	甕	—	8.3	(現存) 4.1	にぶい黄橙	褐灰色	刷毛目 ナデ、ケズリ	剥離により 不明	砂粒		200324 -018
Fig.5-11	PL-3-7	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	高壺	—	—	(現存) 3.4	黒	灰色	タテミガキ、ヨコ ミガキ、ヨコナデ	ナデ ヨコナデ	細砂粒	スカシを施す	200324 -035
Fig.5-12	PL-3-6	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	甕	—	(復原) 7.7	(現存) 5.2	黄灰色	灰黄色	刷毛目 ナデ、押え	ヨコナデ 指押え	細砂粒	底部に外から内 への穿孔を施す	200324 -020
Fig.5-13	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	壺	(復原) 13.4	—	(現存) 3.6	にぶい乳白茶	にぶい灰白茶	ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -033
Fig.5-14	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	高壺	—	(復原) 13.0	(現存) 5.4	にぶい黄橙	にぶい黄橙	刷毛目 ヨコナデ	ナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -034
Fig.5-15	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎東畠)	弥生	小鉢	(復原) 9.0	(復原) 3.0	(現存) 4.3	灰黄褐色	灰黄褐色	押えナデ ナデ	指押え、ミガキ、 ナデ、押え	砂粒若干含む		200324 -028
Fig.5-16	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎西畠)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.4	にぶい黄橙	にぶい黄橙	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒	頸部に断面三角 突帯一条	200324 -582
Fig.5-17	PL-2-20	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎西畠)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 9.0	にぶい黄橙	にぶい黄橙	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -581
Fig.5-18	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎西畠)	弥生	壺	—	2.2	(現存) 3.05	明褐灰色	明褐灰色	ナデ	風化により 不明、ナデか	細砂粒 角閃石		200324 -587
Fig.5-19	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塚崎西畠)	弥生	器台	—	(復原) 10.0	(現存) 4.5	にぶい橙	にぶい褐色	刷毛目 刷毛目→ナデ	ナデ 刷毛目か	細砂粒 石英		200324 -588
Fig.5-20	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧庄分)	弥生	甕	(復原) 29.0	—	(現存) 6.4	にぶい黄橙	にぶい黄橙～ にぶい黄橙	ヨコナデ 器面が荒れ不明	ナデ	砂粒		200324 -001
Fig.5-21	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧庄分)	弥生	甕	—	(復原) 8.3	(現存) 2.2	灰黄色～ にぶい橙	灰黄色	刷毛目 ナデ	押え、ナデ	砂粒		200324 -003

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.5-22	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧庄分)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(現存) 2.9	にぶい黄澄～ にぶい澄	にぶい黄澄	刷毛目 ナデ、押え	ナデ、押え	砂粒		200324 -004
Fig.5-23	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧庄分)	弥生	甕	—	(復原) 12.6	(現存) 3.7	にぶい黄澄	にぶい黄澄	器面が荒れ 調整不明	ナデ、押え	細砂粒		200324 -006
Fig.5-24	PL-3-8	高三瀧遺跡群 (高三瀧庄分)	弥生	高坏	—	—	(現存) 23.2	にぶい黄澄	—	ナデ	シボリ	細砂粒 金雲母、角閃石	貼付け突帯を 施す	200324 -009
Fig.5-25	PL-2-17	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 6.5	にぶい橙色	にぶい橙、にぶ い黄澄灰白色	ナデ、刷毛目	ナデ	砂粒 石英		200324 -161
Fig.5-26	PL-2-18	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.7	浅黄橙色	浅黄澄～澄、 にぶい澄	ナデ	ナデ	砂粒	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -162
Fig.5-27	PL-3-2	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	7.2	(現存) 5.2	にぶい黄澄、 にぶい澄、灰色	にぶい澄、 灰白色、灰色	刷毛目	ナデ	砂粒		200324 -166
Fig.5-28	PL-3-3	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	6.3	(現存) 8.4	にぶい黄澄～灰黄褐色 褐色～灰色	灰色	刷毛目	ナデ	多量の砂粒		200324 -164
Fig.5-29	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北小路)	弥生	甕	—	(復原) 13.0	(現存) 4.7	にぶい黄澄～ 灰黄褐色	浅黄澄～ にぶい黄澄色	ナデ	ナデ	多量の石粒		200324 -165
Fig.5-30	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.5	浅黄澄～ にぶい澄	にぶい澄	ナデ	ナデ、指押え	砂粒 長石	断面三角突帶 1条	200324 -191
Fig.5-31	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 2.2	にぶい黄澄、 にぶい澄、浅黄澄	にぶい黄澄	ナデ	ナデ	砂粒 石英	口縁内側端に 刻み目文	200324 -192
Fig.5-32	PL-3-1	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕	—	8.6	(現存) 5.4	浅黄澄～にぶい 黄澄、灰白～灰色	浅黄澄～ にぶい黄澄	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒 石英		200324 -193
Fig.5-33	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	中世	土鍋	—	—	(現存) 3.0	灰黄褐色	にぶい黄澄	ナデ	磨滅により 不明	砂粒多い		200324 -197
Fig.5-34	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕	(復原) 20.6	—	(現存) 6.7	にぶい黄澄、 灰、灰白色	灰白～灰黄色	ナデ、刷毛目	ナデ、 指押さえ	多量の石粒	胴部に一条の 沈線	200324 -194
Fig.5-35	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕	—	(復原) 10.5	(現存) 7.7	にぶい黄澄、 褐色、暗灰色	にぶい黄澄、 褐色	ナデ、刷毛目	ナデ、 指押え	砂粒		200324 -179
Fig.5-36	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕	—	(復原) 9.0	(現存) 6.5	にぶい黄澄、 にぶい黄澄	にぶい黄澄、 にぶい黄澄	ナデ	ナデ、 指押え	細砂粒		200324 -177
Fig.5-37	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕	—	(復原) 9.6	(現存) 4.0	灰黄褐色～ 褐色	にぶい黄澄	ナデ ケズリ？	ナデ	細砂粒		200324 -178
Fig.5-38	PL-2-18	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕棺	(復原) 77.0	—	(現存) 10.8	にぶい澄～ にぶい黄澄	にぶい澄～ にぶい黄澄	ナデ	ナデ	多量の石粒		200324 -170
Fig.5-39	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 3.2	にぶい季澄、 にぶい澄色	にぶい季澄色	ナデ	ナデ	多量の砂粒 石英		200324 -172
Fig.5-40	PL-2-21	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 13.3	にぶい澄、 にぶい黄澄、灰色	にぶい澄、 にぶい黄澄	ナデ	ナデ	砂粒多い	口縁内側は打ち 欠く？	200324 -171
Fig.5-41	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧古賀)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 14.1	にぶい澄～ にぶい黄澄	にぶい黄澄	磨滅により 不明	ナデ	砂粒、石英、 赤色粒子	形の崩れた断面 三角の突帯2条	200324 -184
Fig.6-1	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	(復原) 25.0	—	(現存) 1.6	にぶい黄澄	にぶい黄澄	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒 角閃石		200324 -304
Fig.6-2	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.2	にぶい茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量		200324 -318
Fig.6-3	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.6	赤茶褐色	赤茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -319
Fig.6-4	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.8	茶褐色	茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -320
Fig.6-5	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.6	にぶい茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -317
Fig.6-6	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 7.0	灰白	にぶい赤澄	風化により 不明	風化により 不明	砂粒		200324 -311
Fig.6-7	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.8	にぶい 赤茶褐色	にぶい 赤茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -316
Fig.6-8	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.8	にぶい黄澄	にぶい黄澄	ナデ	ナデ	多量の砂粒		200324 -313
Fig.6-9	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.9	にぶい黄澄	にぶい黄澄	ナデ、刷毛目	ナデ	多量の砂粒 角閃石		200324 -305
Fig.6-10	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.7	にぶい黄澄	にぶい黄澄	ナデ	ナデ	多量の砂粒 角閃石		200324 -310

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.6-11	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.0	にぶい橙	にぶい橙	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -312
Fig.6-12	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.0	明赤褐色	明赤褐色	ナデ、刷毛目	ナデ、指押さえ	多量の砂粒 角閃石		200324 -306
Fig.6-13	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	5.7	(現存) 4.6	明茶褐色	黒茶褐色	ナデ	ナデ	多量の砂粒		200324 -322
Fig.6-14	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	6.2	(現存) 5.1	黒茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量	全体に化粧土を 施す	200324 -324
Fig.6-15	PL-3-14	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	器台	—	(復原) 19.6	(現存) 2.5	橙	浅黄橙	ミガキ、ナデ	ナデ 工具痕か	細砂粒	外黄面全体に朱 を施す	200324 -315
Fig.6-16	PL-3-11	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.2	にぶい茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒やや多い		200324 -328
Fig.6-17	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 6.6	茶褐色	茶褐色	ナデ、刷毛目	ナデ	砂粒やや多い		200324 -327
Fig.6-18	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.9	浅黄橙	浅黄橙	ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -325
Fig.6-19	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.0	灰白～浅黄橙	灰白	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ	細砂粒		200324 -326
Fig.6-20	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧宮ノ脇)	弥生	甕か壺	—	—	(現存) 3.3	明茶褐色	明茶褐色	風化により 不明	風化により不明 指压さえ	砂粒少量		200324 -330
Fig.6-21	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧天神田)	弥生	甕	—	5.2	(現存) 1.8	茶褐色	茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量		200324 -348
Fig.6-22	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧南五反田)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 3.1	にぶい黄橙	にぶい橙	ナデ	ナデ	砂粒若干含む		200324 -336
Fig.6-23	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧館)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.2	明茶褐色	明茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量	胴部に断面三角 突帯一条か	200324 -302
Fig.6-24	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧館)	弥生	甕	—	7.1	(現存) 3.2	黒茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒多い		200324 -301
Fig.6-25	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧大坪)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.6	明茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -331
Fig.6-26	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧大坪)	弥生	器台	—	15.0	(現存) 7.0	橙	にぶい黄橙	ナデ、磨滅による 不明な刷毛目	ナデ	細砂粒		200324 -334
Fig.6-27	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧大覚須)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 4.6	灰黄褐色	にぶい黄橙	刷毛目 ナデ押え	ナデ押え	細砂粒		200324 -341
Fig.6-28	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧大覚須)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 2.7	にぶい黄橙	褐灰色	器面が荒れ 調整不明	指压さえ	細砂粒		200324 -340
Fig.6-29	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧新領)	土師器 甕の把手	甕	—	—	(現存) 3.2	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	ケズリ	—	細砂粒		200324 -338
Fig.6-30	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧北田)	弥生	甕	—	(復原) 7.6	(現存) 1.8	橙	灰黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒		200324 -300
Fig.6-31	PL-3-13	高三瀧遺跡群 (高三瀧東八ノ江)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.7	茶褐色	茶褐色	不明	不明	砂粒少量	口縁部に丹塗り 有り	200324 -350
Fig.6-32	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塙崎西柵)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 4.4	茶褐色	茶褐色	器面が荒れ 調整不明	器面が荒れ 調整不明	砂粒少量		200324 -352
Fig.6-33	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧友定)	弥生	壺	—	—	(現存) 6.1	灰黄褐色	褐灰色	ナデ、刷毛目 ヘラ削り	ナデ	砂粒多い		200324 -355
Fig.6-34	—	高三瀧遺跡群 (高三瀧塙崎東柵)	弥生	甕	(復原) 20.8	—	(現存) 5.2	にぶい黄橙	橙	器面が荒れ 調整不明	器面が荒れ 調整不明	細砂粒		200324 -358
Fig.6-35	PL-3-10	早津崎吹上	弥生	壺	(復原) 26.8	—	(現存) 5.9	橙	橙	ナデ、刷毛目 ナデ→ 押え、ケズリ	ナデ→ 押え、ケズリ	細砂粒 石英		200324 -589
Fig.6-36	PL-3-12	早津崎吹上	弥生	壺	(復原) 19.0	—	(現存) 9.8	明黄褐色～ 明褐色	橙～明褐色	ナデ、刷毛目 刷毛目、ナデ	砂粒 石英			200324 -590
Fig.6-37	PL-3-9	早津崎吹上	弥生	壺	(復原) 15.25	—	(現存) 7.4	にぶい橙	にぶい橙	刷毛目→ナデ ナデ、押え	砂粒、石英、角閃石、 雲母、黒曜石、金雲母			200324 -591
Fig.6-38	PL-3-18	下小犬塙堂田	白磁	台付皿	(復原) 12.0	(復原) 3.9	3.6	(釉) 白	(地) 白			精良		200324 -570
Fig.6-39	PL-3-15	玉満山の内	須器	壺	14.2	8.9～ 9.0	3.7～ 4.2	灰白	灰白	回転ヨコナデ 回転ヨコナデ	砂粒	輪輪整形 (時計回り) ヘラ切り、ヘラ記号		200324 -593
Fig.6-40	—	高三瀧島添	弥生	甕	—	7.2	(現存) 4.3	橙	橙	ナデ、刷毛目 ナデ	砂粒多量 角閃石			200324 -577

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量(cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.6-41	PL3-17	生津六地蔵	青磁	皿	(復原) 12.0	—	(現存) 2.7	(釉) オリーブ灰	(地) 灰白			微砂粒		200324 -580
Fig.6-42	PL3-16	生津六地蔵	白磁	壺か	—	(復原) 6.2	(現存) 3.4	(釉) 白	(地) 白			精良		200324 -579
Fig.6-43	PL3-20	西牟田清導寺	石器 サカナ	石鑓	2.5	2.0	0.5	灰色	灰色				重さ 2 g	200324 -601
Fig.6-44	PL3-19	田川野田	石器 チャーツ	石鑓	2.55	1.9	0.35	黒	黒				重さ 1 g	200324 -573

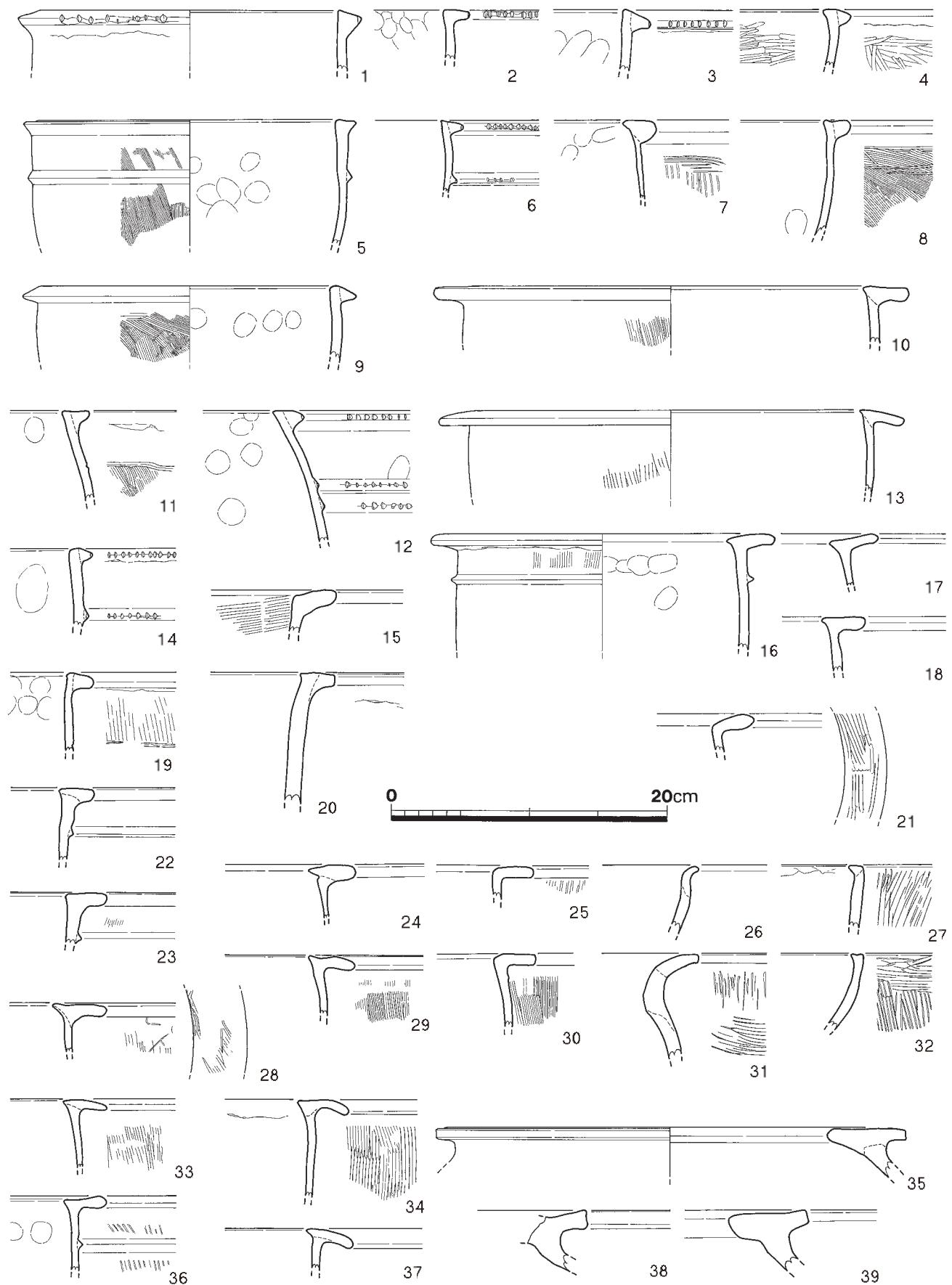


Fig. 26 採集遺物実測図 (1/4)

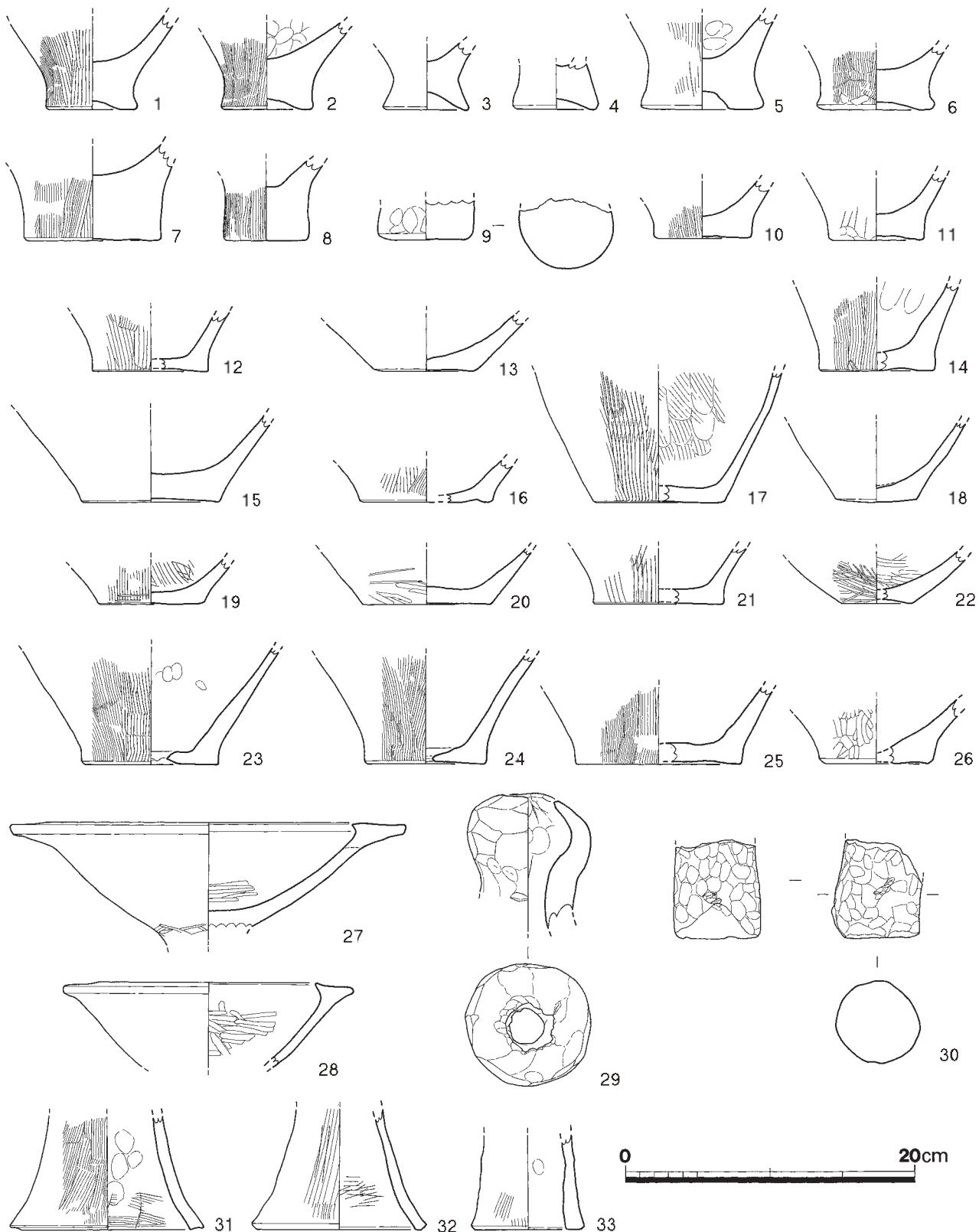


Fig. 27 採集遺物実測図 (1/4)

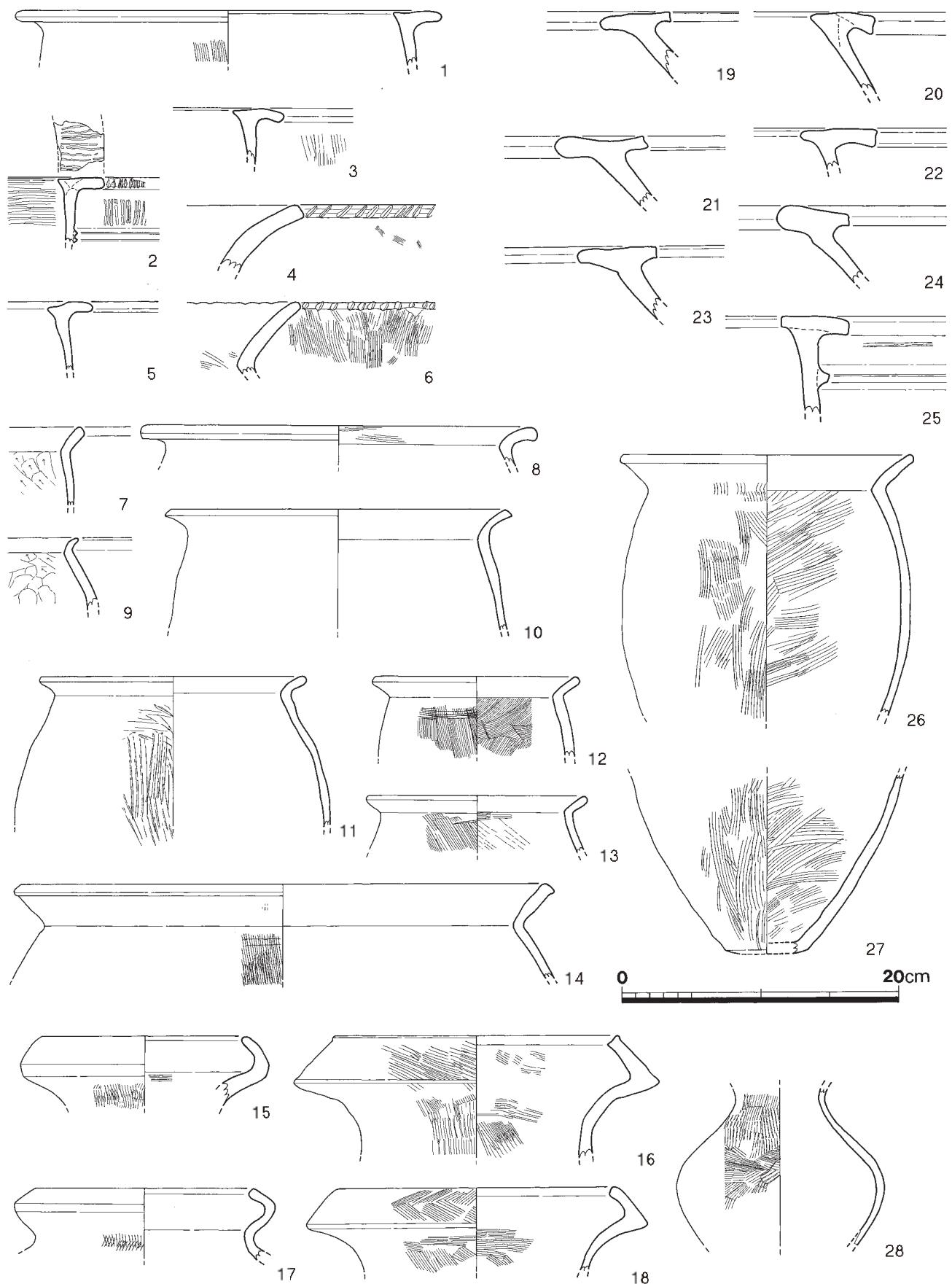


Fig. 28 採集遺物実測図 (1/4)

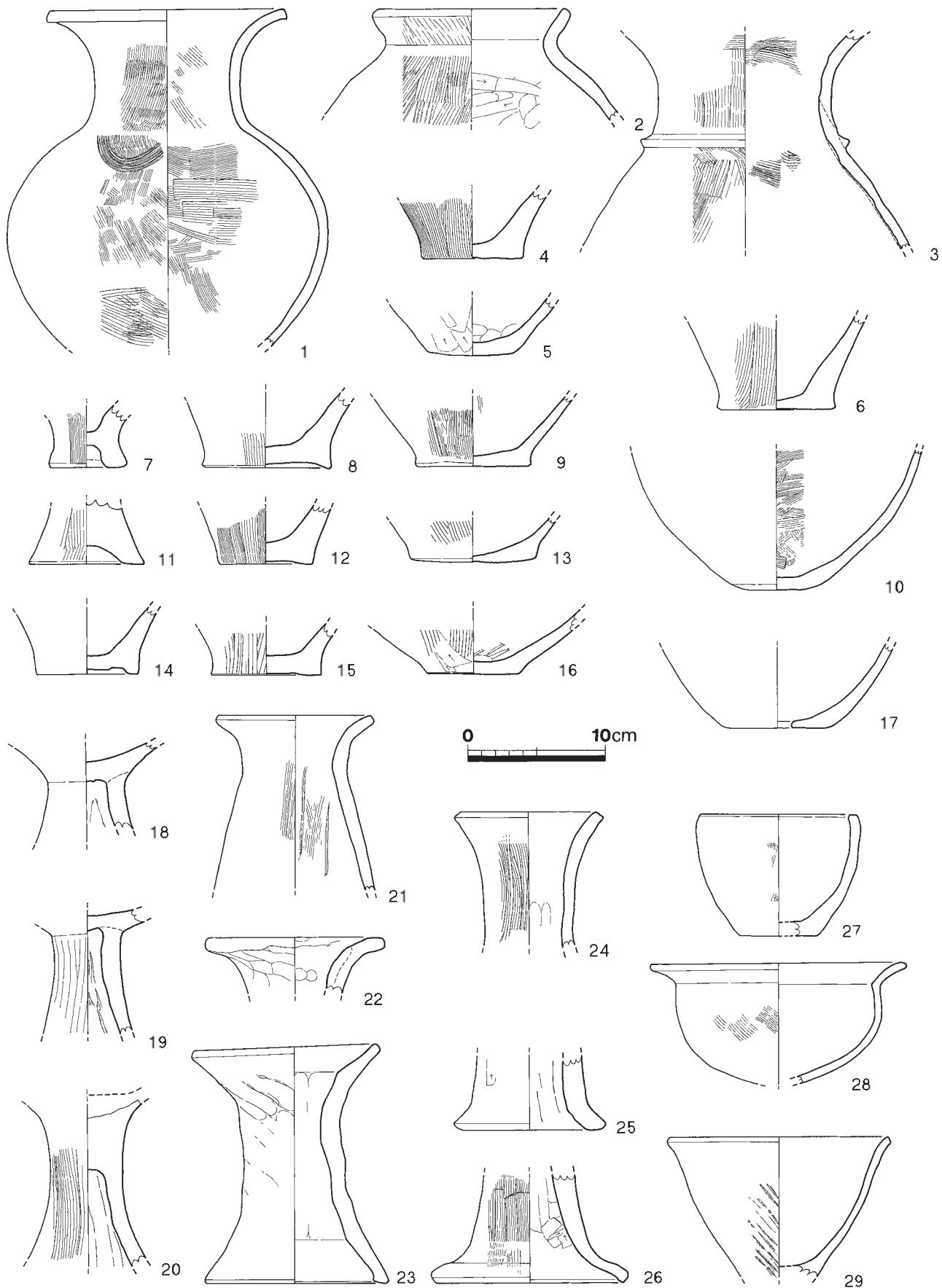


Fig. 29 採集遺物実測図 (1/4)

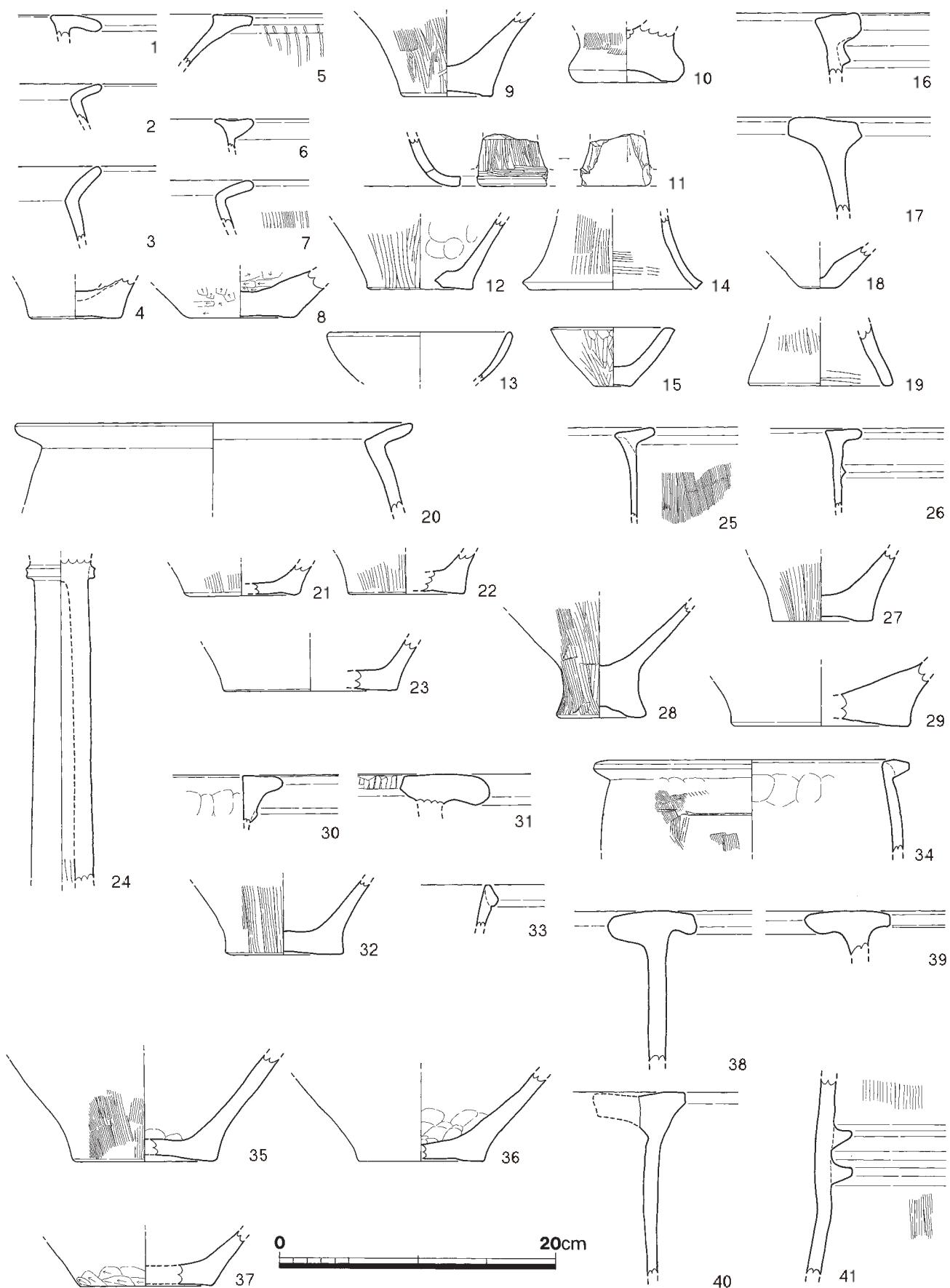


Fig. 30 採集遺物実測図 (1/4)

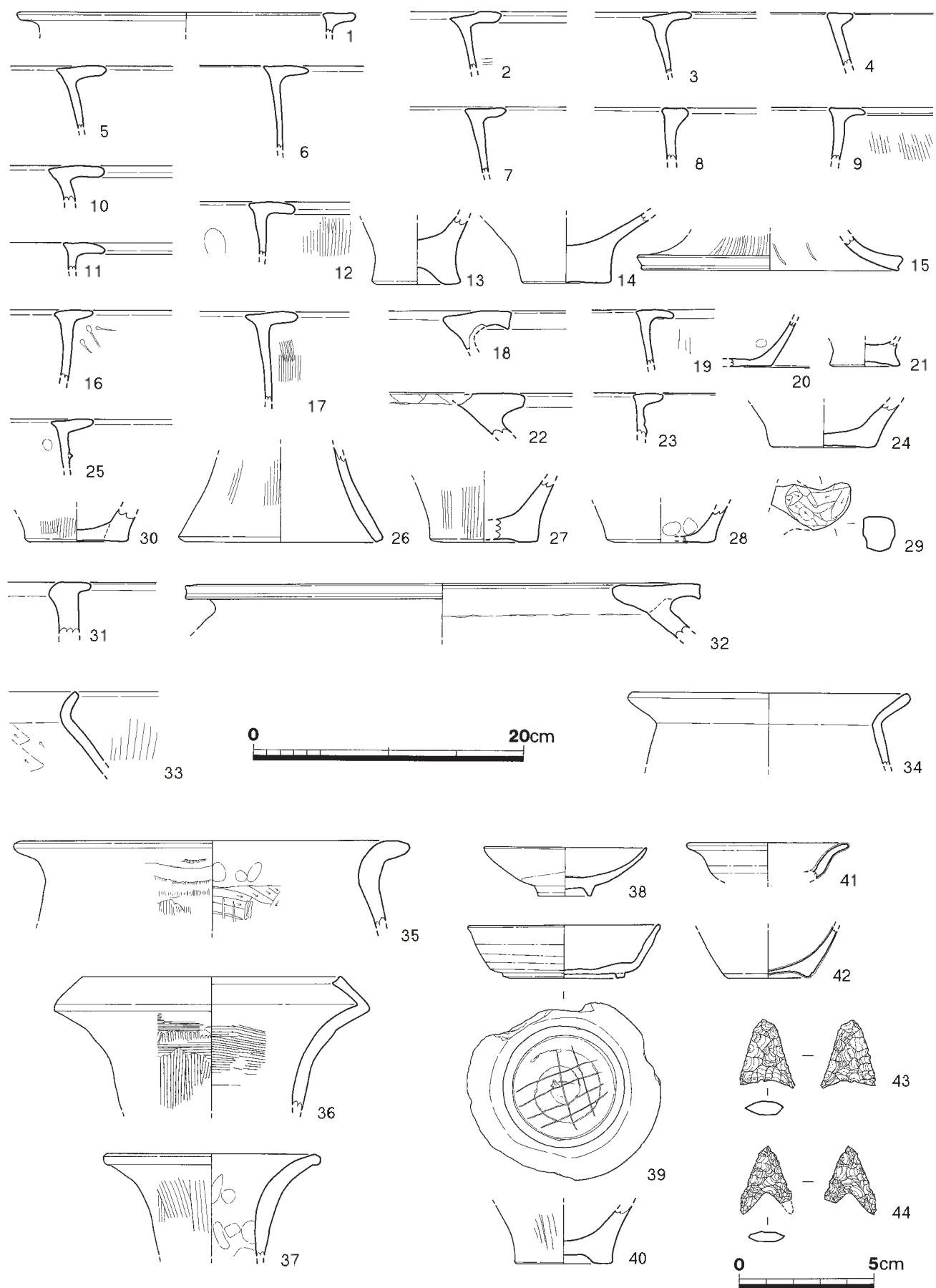
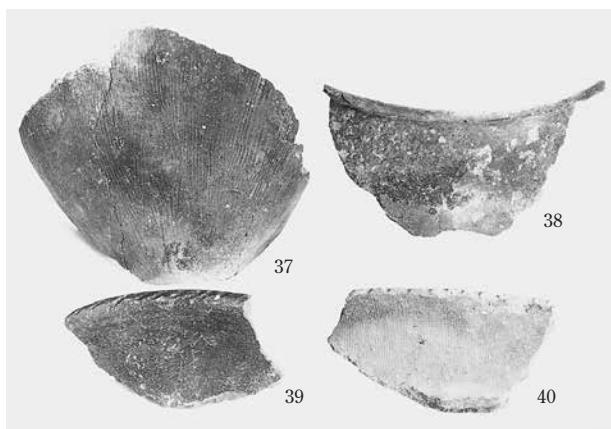
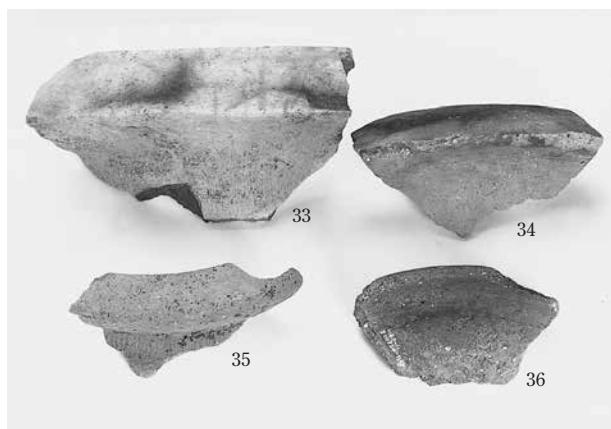
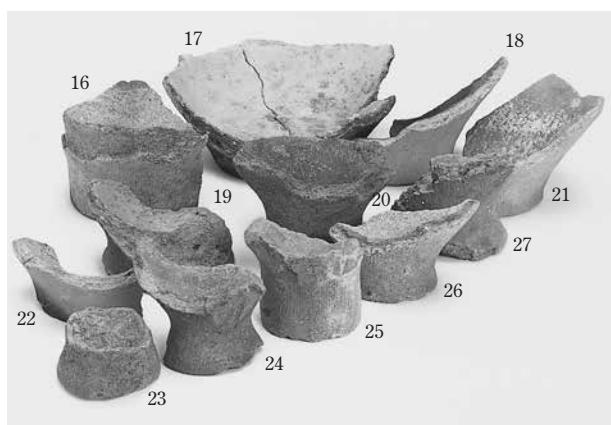
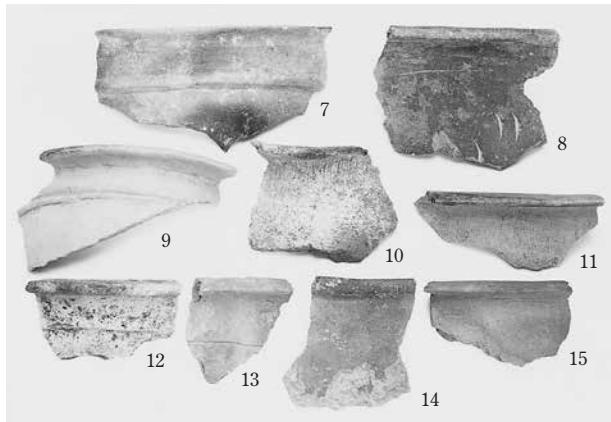
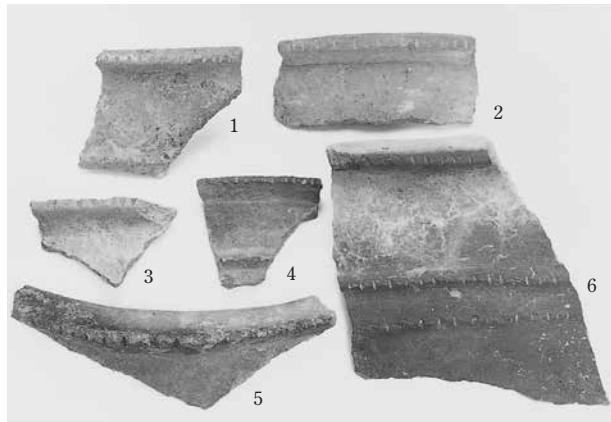
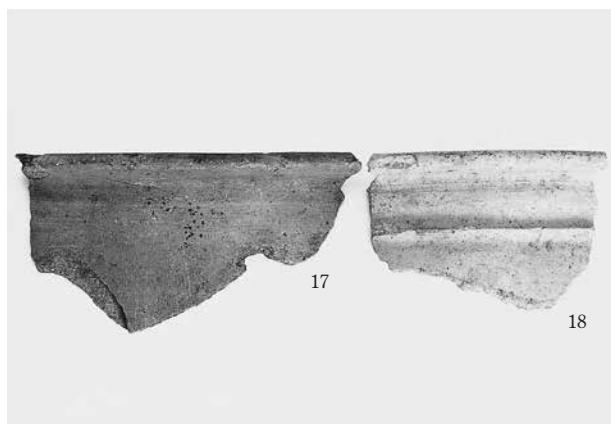
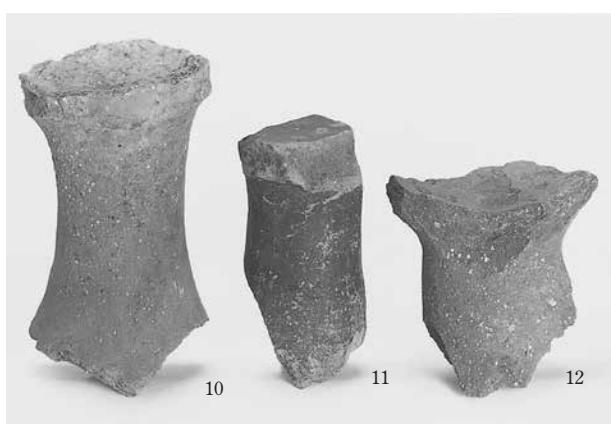
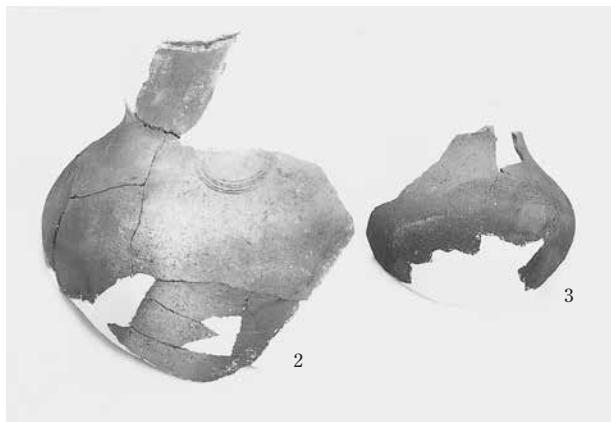
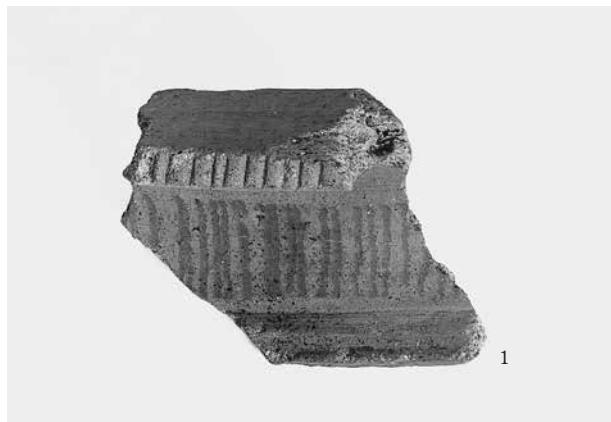


Fig.31 採集遺物実測図 (1/4・1/2)

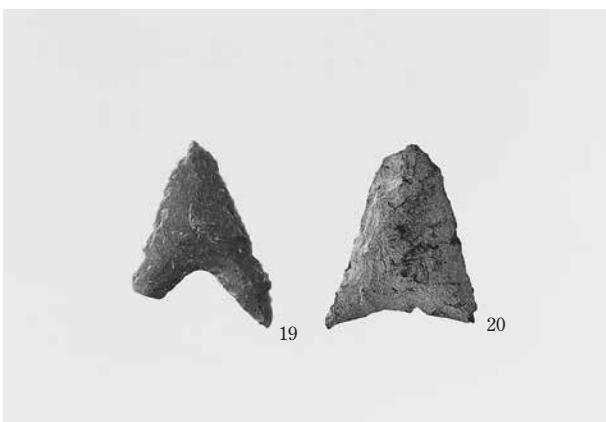
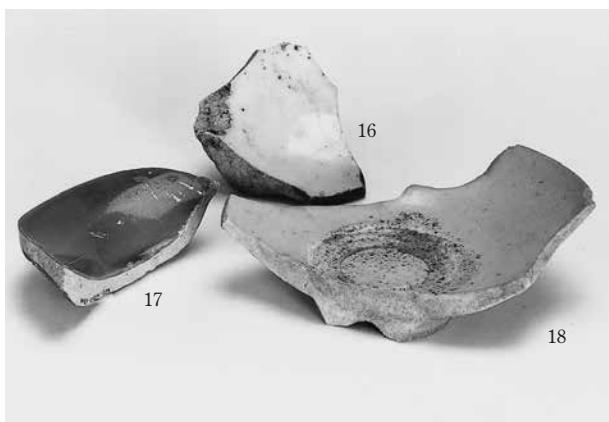
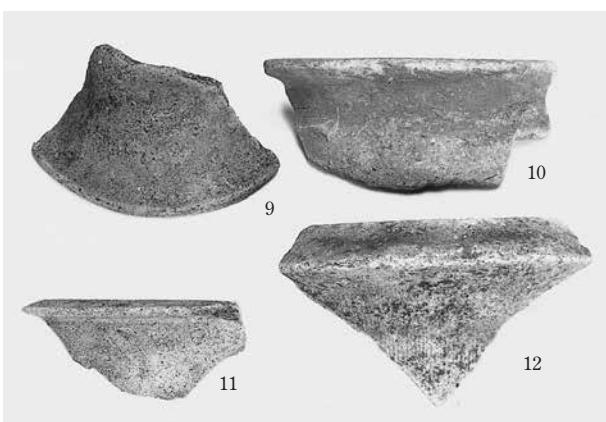
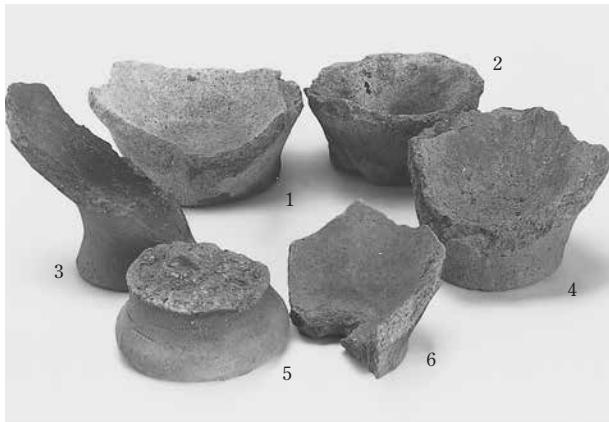
PLATE

PL. 1





PL. 3



報告書抄録

ふりがな	くるめしみづままちいせきとうしようさいぶんぶちょうさほうこくしょ							
書名	久留米市三瀬町遺跡等詳細分布調査報告書							
シリーズ名	久留米市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第217集							
編集者名	塚本 映子							
編集機関	久留米市文化観光部文化財保護課							
所在地	〒830-8520 福岡県久留米市城南町15-3							
発行年月日	西暦 2006年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯 °・'"	東經 °・'"	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
久留米市 三瀬町内 遺跡	福岡県 久留米市 三瀬町	40203		33° 27' 00"	130° 27' 00"	2003年 11月1日～ 2005年 1月28日	15.83km ²	三瀬町内遺跡 の詳細分布調 査及び分布地 図作成
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
三瀬町内 遺跡				弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器				

久留米市三潴町遺跡等詳細分布調査報告書

久留米市文化財調査報告書

第217集

2006年3月31日

発 行 久留米市教育委員会
福岡県久留米市城南町15-3

編 集 文化観光部 文化財保護課

印 刷 (株) エヌ・ティ・パック